

幕末期江戸の立山信仰

—芦嶮寺宝泉坊の江戸の檀那場と廻檀配札活動の実態—

福江 充*

はじめに

富山県立山山麓芦嶮寺村に所在する芦嶮寺雄山神社や富山県〔立山博物館〕では、旧芦嶮寺宿坊家の檀那帳や廻檀日記帳を所蔵するが、近年筆者は、これらの史料を調査・整理し、芦嶮寺宿坊家の廻檀配札活動や檀那場の実態について検討を重ねている⁽¹⁾。

その中でも特に、立山信仰の伝播者たる芦嶮寺衆徒が幕末期の江戸やその近郊で行った廻檀配札活動は興味深く、これまで度々論じてきた。しかし、その際に分析対象とした宿坊家の檀那帳や衆徒の廻檀日記帳に内在する情報量は膨大で、それを十分に活かして、或いは網羅的に目を通して論じてきたとはいいがたい。

そこで本稿では、芦嶮寺宝泉坊の事例に絞り、同坊衆徒泰音が記した元治2年(1865)と慶応3年(1867)の2冊の東都廻檀日記帳やその弟子興脈が控えとして使用した慶応2年(1866)の東都檀那帳を分析対象とし、時期も元治期から慶応期に限定し、宝泉坊衆徒の江戸での廻檀配札活動と檀那場の実態について検討を試み、旧稿を補足したい。なお今回、論を進めるために作成した表は全て本稿末に一括して掲載した。

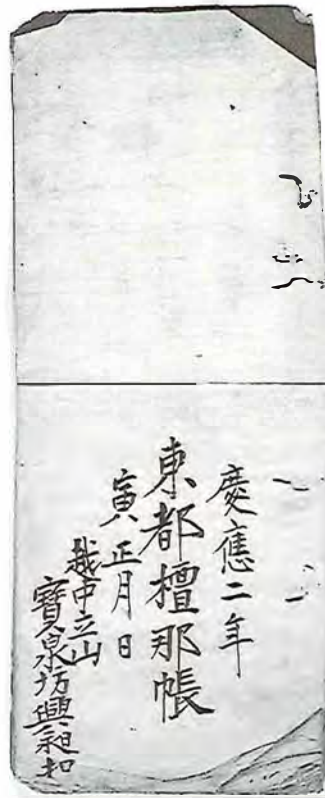
1 宝泉坊の東都檀那帳からみた江戸の檀那場のイメージ

1.1 慶応2年の東都檀那帳の書誌

宝泉坊の慶応2年(1866)の東都檀那帳(写真①・②)は芦嶮寺雄山神社の所蔵である。その形態は横帳で法量は縦11.9cm×横17.8cm、外表紙に青の色紙が貼り込まれている。外題はみられず、内題として「東都檀那帳 越中立山寶泉坊興脈扣 慶應二年寅正月日」と記されている。内題の「興脈扣」の記載から、この檀那帳は宝泉坊衆徒泰音の弟子興脈が主人泰音の檀那帳を書写し、さらに配札の注意事項やその他雑記なども挿入しながら、自分自身の廻檀配札活動で使用していたものであることがわかる。

1.2 宝泉坊の東都檀那帳からみた江戸の檀那場のイメージ

*富山県〔立山博物館〕



写真①



写真②

慶應2年(1866)の東都檀那帳に記載されている信徒について、まず、基本情報として掲載順に信徒名・居住地・職業・宿泊家の有無といった項目を立ててデータベースを作成し、次に、それに合わせて衆徒が得た受納金(初穂料)や衆徒による諸品(護符や土産)の頒布・献上状況、祈禱の有無、嘉永6年(1853)の宝泉坊東都檀那帳⁽²⁾にみられ

る信徒との重複などに関するデータベースを作成した。そして、それを一覧表として示したものが第1表であり、さらに、第1表の内容を集約し、各信徒別にはなく、地域別（明治11年に施行された郡区町村編制法によって制定された15区の区割りに基づく）に前掲の項目を整理して作成したものが第2表である。

第1表に示す通り、慶応2年（1866）の東都檀那帳に記載された信徒総数は531人である。ただし、この531人は檀那帳の巻頭から定型の書式で連続に記された信徒の人数を集計したもので、この一連の記載が終わると、その後、廻檀配札に役立つ雑記や現場で挿入されたと思われる新規登録の信徒名及び居住地、諸品の頒布状況・祈禱状況に関する雑記などが不統一に記されている。今回、この部分については分析の対象外とした。

ところで、江戸の檀那場に対するイメージは、例えるなら、子供が幼稚園の砂場で531個のビー玉を振りまいた際、砂場のあちこちにまばらに分布したといったような、なんとも輪郭のはっきりしないものである。ただし、一部では宝泉坊と師檀関係を結ぶ松平和泉守（三河西尾藩主松平乗全）のような大名も存在し、藩主と家臣の影響関係から藩邸で信徒が一群となって分布している場合や、或いは新吉原で立山講が結成され、やはり信徒が一群となって分布している場合もみられる。

こうした江戸の檀那場に対するイメージは、芦峯寺善道坊が三河国各地において農村や山村・漁村を中心に檀那場を形成した場合⁽³⁾と大きく異なる。すなわち、善道坊の三河国の檀那場に対するイメージは、例えるならジグソーパズルのようなものである。三河国をジグソーパズルとして、その中の1村が1ピースにあたり、善道坊は各村の庄屋に依存して1村単位で廻檀配札の対象領域を確保し、その集合体で檀那場を形成しているのである。

さて、当然のことながら、巨大都市江戸で500人程度の信徒数では、大名屋敷や新吉原の特殊な事例を除いて、信徒が一定地域に集住して存在することは少ないと考えられる。したがって、江戸の檀那場の輪郭を求めようとしたとき、善道坊の“檀那場”のように、それをブロック単位的な発想で捉えることは必ずしも有効な方法とはいえない。しかし、砂場に区画を設け、各区画にどのくらいビー玉が落ちているかを探り、地域性との関連や、何らかの傾向を見出すことは可能である。そこで第2表に基づいて信徒の分布状況を地域別にみていくと、三河西尾藩主松平和泉守をはじめ、その家族・使用人・藩士など33人を含む深川区や新吉原の関係者39人を含む浅草区が70人を越えており、次いで芝区52人、日本橋区44人、京橋区41人、本所区40人、麴町区33人、牛込区31人といった状況である。こうした宝泉坊の信徒の分布傾向としては、江戸問屋商業の中心地である日本橋や御用達職人の拝領地がならぶ京橋、山の手最大の商職集住地区である麴町、江戸

の市街地と農村との接点に位置する本所区など、どちらかといえば下町に多く分布しているようである。

1.3 信徒の身分一特に武士身分の信徒を中心に

宝泉坊と師檀関係を結んだ江戸の信徒の身分については、巨大都市江戸という独特な地域性を反映し、屋号をもつ商人や職人、新吉原関係者などの町人の信徒が多い。また、宝泉坊衆徒は幕臣や諸大名の居屋敷・藩邸、さらにその家臣が居住する長屋にも出入りしており、武士の信徒もかなり多い。

まず、商人身分の信徒の状況をみていくと、各信徒の職種は第1表に示す通り、葛麦店・呉服店・古着屋・手掛店・足袋店・材木店・木具店・茶店・船宿・油店・米店・煙草店・質店・道具店・紙店・酒屋などがみられ、その他、新吉原関係者の信徒もかなり多くみられる。一方、職人身分の信徒の職種としては大工や左官、鋳物師などがみられる。なお、宝泉坊と師檀関係を結んだ商人たちを通覧する限り、幕府に対する御用金の上納額が500両を越すような大商人は一人もみられず⁽⁴⁾、中小商人ばかりであったと推測される。

次に、武士身分の信徒の状況をみていくと、旗本や御家人などの幕臣をはじめ、諸大名及びその江戸藩邸に勤める江戸詰の藩士や江戸常駐の藩士らがみられる。

宝泉坊と大名自身が直接師檀関係を結んでいる事例として三河西尾藩主（6万石）の●松平和泉守〔乗全・乗秩〕や豊後杵築藩主（3万2千石）の●松平河内守〔親良・親貴〕（親良の妻は松平乗全の娘）があげられる⁽⁵⁾。そして、彼らの江戸藩邸の家臣も藩主に従ってか、宝泉坊と師檀関係を結んでいるものが多くみられる⁽⁶⁾。また、諸藩の江戸詰の藩士たちの中にも個人的に宝泉坊と師檀関係を結び、そのため衆徒が彼らの居住する藩邸などに入出入りする場合も多くみられる。なお、衆徒が出入りした大名屋敷は次の通りである。●丹羽左京大夫（陸奥二本松藩、10万石）、●秋田安房守（陸奥三春藩〔藩の御用商人のもとへ出入り〕、5万石）、●佐竹右京大夫（出羽久保田藩、20万5千石）、●前田丹後守（上野七日市藩、1万石）、●水野出羽守（駿河沼津藩、5万石）、●藤堂和泉守（伊勢津藩、32万3千石）、●三浦志摩守（美作勝山藩、2万3千石）、●本多下総守（近江勝所藩、6万石）、●稲葉長門守（山城淀藩、6万石）、●紀伊中将（紀伊紀州藩、55万5千石）、●仙石播磨守（但馬出石藩、3万石）、●森越中守（播磨赤穂藩、2万石）、●松平阿波守（阿波徳島藩、25万6千石）、●松平讃岐守（讃岐高松藩、12万石）、●阿部伊豫守（備後福山藩、11万石）、●亀井隠岐守（石見津和野藩、4万3千石）、●松平（黒田）美濃守（筑前福岡藩、47万3千石）、●細川能登守（肥後熊本新田

藩、3万5千石)。

一方、幕臣の信徒も多く存在し、以下、具体的に何人かの素性をみていくと次の通りである。

●河野長十郎(第1表No.079、居屋敷：下屋練堀小路、禄高：650石、役職：文久2年に二丸留守居、本国：伊豫、先祖：父は二丸留守居)、●深谷左源太(第1表No.120、居屋敷：湯島霊雲寺前、禄高：500石、役職：安政5年5月29日に小性組入、本国：武蔵)、●永井太之丞(第1表No.121、居屋敷：本郷御弓町、禄高：2000石、役職：文久3年12月15日に書院番より使番、慶応2年12月29日に御役御免、勤仕並寄合。先祖：養父は永井兵次郎・書院番、実父は永井肥前守若年寄、本国：三河)、●新見内膳(第1表No.151、居屋敷：小日向金剛寺坂、禄高：300石、役職：安政に大番本多組、慶応2年4月18日に大番から飛騨郡代となる。慶応4年4月24日に御役御免。本国：三河)、●小宮山利助⁽⁷⁾(第1表No.156、居屋敷：土手四番町、禄高：400石、本国：甲斐)、●大沢主馬⁽⁸⁾(第1表No.181、居屋敷：愛宕下神保小路、禄高：856石、役職：元治元年に和学所書物御用手伝、本国：美濃、先祖：祖父は大沢相模守・西丸留守居、父は大沢豊前守・小姓)、●横田権之助(第1表No.277、居屋敷：赤坂溜池、禄高：9500石、役職：文化3年11月4日に家督寄合、本国：甲斐、先祖：養祖父は横田筑後守・小性組番頭、養父は横田甚太郎、実祖父は大岡主膳正・若年寄、実父は大岡兵庫頭・雁間席)、●石丸源五郎(第1表No.382、居屋敷：深川森下町伊豫橋角、禄高：600石、役職：安政に書院番花房組、本国：伊勢)、●鈴木宗斎〔大道寺権次郎(表坊主)〕(第1表No.401、居屋敷：築地鉄砲洲、禄高：300石、役職：安政に小性組水野組、本国：山城)。

一方、檀那帳に記載された武士身分の信徒のうち、同帳に御坊主衆の役職が付記された信徒が7名みられ、以下の通りである。●徳力孝之進(第1表No.048、蠣殻町)、●近藤友吉(第1表No.081、下谷藤堂様中屋敷西長屋下)、●八木下友格(第1表No.082、下谷中御徒町)、●古田門嘉(第1表No.085、下谷三筋町東ノ通表門脇)、●佐藤春貞(第1表No.086、下谷三筋町)、●太田雲外(第1表No.107、根岸藤寺後)、●飯沼庭作(第1表No.127、小石川鷹匠町)。

1.4 嘉永6年と慶応2年の東都檀那帳からみた師檀関係の継続と新規登録状況

嘉永6年(1853)と慶応2年(1866)の東都檀那帳の記載内容をそれぞれ分析・比較し、嘉永6年から慶応2年までの間の宝泉坊と江戸在住の信徒との師檀関係の継続状況や或いは師檀関係の新規登録状況を第3表に示した。その際、信徒の身分別や地域別に分類して一覧できるようにした。なお、分析に際して東都檀那帳に記された各信徒の身

分について、武士・商人・職人・家主・宗教者関係に大別したが、その判別は檀那帳に信徒名とともに職業が記されている場合はそれに基づき、また、それ以外は信徒名の性や屋号などによる筆者の推測に基づくものである。

まず、慶応2年(1866)の東都檀那帳に記された531人の信徒を対象とし、前掲のいずれかの身分に大別した場合、その内訳は、武士身分の信徒総数が248人、商人身分の信徒総数が252人、職人身分の信徒総数が17人、家主が7人、宗教者関係が7人となる。次に、第3表に基づき、各地域・各身分ごとに師檀関係の継続状況や新規登録状況をみていきたい。

1.4.1 武士身分の信徒の場合

武士身分の信徒における師檀関係の継続件数は89人で、地域別で多い順にみると、深川区の19人、麴町区の12人、京橋区の10人である。深川区の特徴は、石丸源五郎(深川森下町)を除き、他の全ての信徒が松平和泉守関係者だということである。麴町区の特徴は、12人のうち10人が松平河内守関係者だということである。京橋区の特徴は松平阿波守関係者(南八丁堀屋敷)を5人、松平和泉守関係者(木挽町屋敷)を3人含むことである。

一方、師檀関係の新規登録者件数は159人で、地域別で多い順にみると、深川区が21人、京橋区が18人、麴町区が14人、日本橋区が12人、小石川区が12人、本所区が12人、神田区が9人といった状況である。深川区の特徴は松平和泉守深川屋敷関係者の15人を含む点である。京橋区の特徴は松平和泉守木挽町屋敷関係者と松平阿波守関係者の7人を含む点である。麴町区の特徴は松平河内守関係者の3人と三浦志摩守関係者の3人を含む点である。日本橋区の特徴としては橘町に松平和泉守関係者の2人と御坊主の1人を含む。小石川区の特徴としては松平讃岐守の関係者2人と御坊主衆1人を含む。神田区の特徴としては稲葉長門守の関係者6人と松平和泉守関係者の2人を含む。なお、その他の地域として29人の信徒が新規に登録しているが、そのうちの17人は松平和泉守関係者で三河国西尾に在住の信徒たちである。

なお、各藩邸中における師檀関係新規登録の状況は次の通りである。水野出羽守家中(3人~6人となり3人増加)、佐竹右京大夫家中(3人~5人となり2人増加)、稲葉長門守家中(1人~10人となり9人増加)、松平讃岐守家中(1人~3人となり2人増加)、森越中守家中(4人~6人となり2人増加)、松平阿波守家中(5~12人となり7人増加)、松平河内守家中(10人~13人となり3人増加)、三浦志摩守家中(1人~4人となり3人増加)、松平和泉守家中(31人~77人となり46人増加)、細川能登守家中(2人~2人で増加なし)。

1.4.2 商人身分の信徒の場合

商人身分の信徒における師檀関係の継続件数は92人で、地域別で多い順にみていくと、浅草区が26人、日本橋区が15人、芝区が14人、深川区が8人といった状況である。浅草区の特徴は新吉原関係者の9人と質店経営者の5人を含む点である。日本橋区や芝区の場合は材木店・呉服店・古着店・茶店・船店などさまざまな商人が少人数ずつ増加している。深川区の特徴は材木店経営者の4人を含む点である。

一方、師檀関係の新規登録者件数は160人で、地域別で多い順にみていくと、浅草区が43人、深川区が23人、芝区が22人、本所区が18人、牛込区が17人といった状況である。浅草区の特徴は、新吉原の30人と酒屋2人や質屋2人を含む点である。深川区の特徴としては、酒店2人や船宿2人を含む。芝区・本所区・牛込区については様々な種類の商人がそれぞれ少人数ずつ増加している。

1.4.3 家主の信徒の場合

檀那帳に掲載された家主の信徒数は10人で、その名前と住所は以下の通りである。そのうち1人の信徒が嘉永6年(1853)から師檀関係を継続しており、残りの9人の信徒が新規登録を行っている。なお、地域的には芝区で3人、深川区で2人の信徒が増加している。●柏屋伊助(第1表No.005、神田花田町代地)、●俵屋甚兵衛(第1表No.047、日本橋数寄屋町)、●久兵衛(第1表No.135、小石川大塚町)、●大坂屋喜右衛門(第1表No.195、新橋柴井町)、●源七(第1表No.222、三田1丁目)、●近江屋久五郎(第1表No.242、芝田町1丁目)、●亀治郎(第1表No.303、麴町13丁目)、安治郎(第1表No.341、深川東平野町)、●万屋市三郎(第1表No.386、深川永代寺門前)、●越後屋(第1表No.391、霊岸島本湊町1丁目)。

1.4.4 職人の信徒の場合

檀那帳に記載された左官の信徒は、●左官忠七(第1表No.032、人形町杉森庄助屋殿稲荷前)、●左官豊次郎(第1表No.168、牛込馬場先片町)、●左官倉蔵(第1表No.366、南本所石原町片町)、●左官喜之助(第1表No.367、本所桜堀火の見ノ下近く)の4人で、そのうち嘉永6年(1853)から師檀関係を継続している信徒は3人である。大工の信徒は、●大工竹次郎(第1表No.040、中橋天王横町)、●若狭屋権九郎(第1表No.172、牛込神楽坂上行願寺内)、●小口屋幸吉(第1表No.387、深川西平野町)、●大工平左衛門(第1表No.453、横浜元村3丁目八ツ村内)の4人で、そのうち嘉永6年(1853)から師檀関係を継続している信徒は3人である。鋳物師の信徒は●鋳物師寅吉(第1表No.321、深川富川町)1人だけである。

1.4.5 宗教者関係の信徒の場合

宗教者関係の信徒数は7人で、その名前と住所は以下の通りである。●江坂ト庵（第1表No.072、浅草広小路日音院地内）、●道了宮（第1表No.074、浅草花川戸川岸）、●正覚寺（第1表No.160、牛込高田馬場下）、●来迎寺（第1表No.162、牛込）、●宝性庵（第1表No.227、亀戸鎮守近）、●仏母庵（第1表No.320、本所番場）、●十方庵（第1表No.381、深川富川町。このうち、宝性庵と十方庵は師檀関係新規登録者である。

ところで、以上みてきた動向を整理すると、師檀関係の継続及び新規登録状況については次のことがいえよう。①。嘉永6年（1853）から慶応2年（1866）まで13年も経ており、その年月の長さも多分に考慮しなければならないが、師檀関係の継続者が信徒総数531人中、194人であり、数字で見ると江戸在住の信徒の入れ替わりは激しいように思われる。②。武士身分の信徒の増加については、松平和泉守関係の信徒の増加によるところが大きい。深川下屋敷の家臣の間での信徒の増加に加え、特に慶応2年（1866）の東都檀那帳には三河国西尾在住の松平和泉守の家臣たちが多数登録されており、それが増加人数を高めている。また、それ以外の各藩の藩邸でも少人数ずつではあるが増加している。③。商人身分の信徒は深川区・芝区あたりで増加している。また、新吉原関係の信徒も増加している。④。宝泉坊の勧進布教対象者には職人身分の信徒や宗教者関係の信徒はもともと少ないのだが、嘉永期から慶応期にかけて、ほとんど増加していない。

1.5 衆徒用と弟子用の檀那帳の違い

先に示したように、慶応2年（1866）の東都檀那帳は弟子興脈が住職泰音の檀那帳に記されている信徒名や住所を書写し、彼自身の廻檀配札活動で使用していたものである。それゆえ、この檀那帳に記されている信徒名や住所などの基本情報については、泰音が使用する檀那帳の内容とそれほど大差はないと考えられるが、護符類や諸品の頒布・献上、土産の献上、祈禱や招講の勤修に関する記録については、この檀那帳の使用者である興脈の廻檀配札活動の動向を示しており、それがイコール宝泉坊の総体的動向を示しているわけではない。この檀那帳に記されたものとは別に、当然、住職泰音の廻檀配札活動が行われており、それにとまなう泰音の収益が別途に存在する。ただし、管理者たる泰音の側では、当然興脈の収益も含め、宝泉坊家として江戸での廻檀配札活動による全体的な収入を集計した檀那帳や廻檀日記帳を制作している。すなわち、元治2年（1865）や慶応3年（1867）の東都廻檀日記帳の巻末の集計は、興脈が稼いだ分も含め整理・集計したもので、宝泉坊家の廻檀配札活動に関する総合帳簿の意味をもつ。

ところで、おそらくいずれの信徒も、どちらかといえば弟子興脈より住職泰音の訪問を期待したはずである。そして、当然住職泰音と弟子興脈とでは、時には信徒側の待遇

にも格差があったであろう。また、数多い信徒たちの中でも、とりわけ重要な大名方や旗本、商家の信徒に対しては、或いはその年に回忌法要などを勤める特別な場合は、やはり住職泰音が自ら廻檀したであろう。そうした傾向は、後ほど第7表で示すが、泰音の江戸滞在中の動向に如実に表れている。一方、以下は推測の域を出ないが、興脈の場合は、多くの信徒たちのうち上級者への対応は泰音に任せ、彼自身はむしろ中級者・下級者の信徒宅を洩れなく廻り、祈禱や仏前廻向など儀礼を前面に出した勸進活動よりも、むしろ護符類や諸品の頒布を着実にこなすといった、住職の補助員的な勸進活動を行っていたのではなかろうか。住職の大物狙いともとれる積極的な活動も弟子の地道な活動なくしては、ありえなかったはずである。

1.6 慶応2年の東都檀那帳にみる江戸の檀那場での受納金・諸品頒布・祈禱状況

慶応2年(1866)の東都檀那帳には信徒の名前や居住地、職業などとともに衆徒が得た受納金(初穂料)や衆徒が頒布・献上した諸品についても記載がみられる。以下、前掲の第1表と第2表からその内容を分析していきたい。

各信徒からの布施金額は受納金(初穂料)として「ア・サ・オ・キ・ミ・ノ・ク・ス・リ」の表記で記されている。ところで、檀那帳には前掲の表記で各信徒の受納金(初穂料)の金額が示されているが、この表記が江戸時代の勸進活動の際に記されたものか、或いは明治時代の勸進活動の際に記されたものかは不明である。また、この表記が江戸時代にかなる金額を表していたかについても不明である。そこで、本表では明治時代の他の檀那帳の凡例⁹⁾に基づき、「ア」の印は10銭、「サ」の印は20銭、「オ」の印は30銭、「キ」の印は40銭、「ミ」の印は50銭、「ノ」の印は60銭、「ク」の印は70銭、「ス」の印は80銭、「リ」の印は90銭として提示した。そして、その総額は3570銭となる。

次に、頒布品や献上品には「並」・「供」・「守」・「木」の護符などに加え、葛・海苔・金平糖などの食用品、箸や足袋などの日用品がみられる。この中で、「並」・「供」・「守」・「木」の印が具体的にどのような種類の護符を示すかは今のところ判明していない。これについて、芦峯寺吉祥坊が嘉永期に使用していた『御祈禱檀那帳』¹⁰⁾の記載を参考とすることができる。すなわち、同檀那帳の巻末には衆徒が頒布品の記録として帳面に略記した各印の凡例が掲載され、その中で、「守」は「御守護の守」、「木札」は「(梵字)奉修立山秘法供御武運長久如意満足祈所」とみられる。一方、これら以外の「並」の印は、頒布数の多さと、各身分の信徒に比較的均一的に頒布されているので牛玉宝印『立山之宝』を示していると推測される。「供」の印の頒布品については供物の菓子などを表しているのではなかろうか。

さて、各頒布品ごとに頒布状況を見ていくと、「並」については総件数が314件で、多い順にみていくと、深川区 (49人)、芝区 (34人)、京橋区 (27人)、本所区 (25人)、浅草区 (24人)、三河国西尾 (23人)、麴町区 (18人) といった状況である。信徒の各身分ごとの内訳については、武士身分156人で155件、商人身分146人で146件、職人身分6人、家主3人、宗教関係者4人となっている。「供」については総件数が109件で、多い順にみていくと、日本橋区・深川区 (14人)、芝区 (12人)、赤坂区・麴町区・小石川区・下谷区・四谷区 (7人) といった状況である。信徒の各身分ごとの内訳については、武士身分50人で49件、商人身分55人で55件。職人2人で2件、宗教関係者2人で2件、家主1人となっている。「守」については総件数が32件で、多い順に見ていくと、下谷区・深川区 (5人)、芝区 (4人)、牛込区・小石川区・日本橋区 (3人) といった状況である。信徒の各身分ごとの内訳については、武士身分20人で20件、商人身分9人で9件。宗教関係者1人で、家主2人で2件となっている。「木」については件数が1件で松平和泉守家臣の鈴木権太夫 (木挽町) に頒布されている。

一方、葛・海苔・金平糖などの食用品、箆や足袋などの日用品は土産として持参されたが、葛は36人で35件献上されている。献上先の信者の身分の内訳は、商人15人に武士19人で18件、宗教関係者2人である。海苔は20人で19件で、献上先の信者の身分の内訳は、商人が15人で15件、職人は4人で3件、武士は1人である。金平糖は26人で25件で献上先の信者の身分の内訳は、武士は6人で5件、商人は18人で18件、職人2人である。箆は22人で22件献上されている。頒布先の信者の身分の内訳は、商人5人に武士3人、職人と宗教関係者が1ずつである。足袋は6人で6件であり、献上先の信徒の身分の内訳は宗教関係者が3人、武士と商人の身分のものが1人ずつである。

一方、祈禱を行った信徒宅については、檀那帳中、「勤」の印が付され、その総件数は41人で41件となる。祈禱を受けた信徒の身分の内訳は商人が27人、武士11人、職人2人、家主1人である。

ところで、この檀那帳には、松平阿波守関係者や新吉原関係者に対する諸品の頒布状況は示されておらず、前掲第1表でも該当の部分は空白域になっている。その理由は先程述べた通り、この檀那帳の使用者が弟子興脈であり、その興脈の廻檀動向を反映しているからである。興脈はおそらく檀那場の信徒宅を一通り洩れなく廻っていたと推測されるが、信徒の中でも特に重要な箇所はおそらく泰音自身が積極的に廻檀したと考えられる。空白域の信徒宅については、興脈は泰音に任せきって自分自身はあえて出入りしていなかったか、或いは出入りしていても布施収入自体は泰音が訪れた際に受け取っていたものと推測される。

2 元治期から慶応期の江戸の檀那場における廻檀配札活動

2.1 江戸時代後期の宝泉坊

宝泉坊の宿坊名については現存の古文書史料を管見する限り、正徳2年(1712)2月に芦嶽寺宿坊家が連名で加賀藩寺社奉行所へ宛てた書き上げ⁽¹¹⁾の中にみられるものが初出である。しかし、同坊に関しては、江戸時代後期の古文書史料が残っており、いくらかその動向を窺うことができるものの、それ以前の史料はきわめて少なく宝泉坊の古い時代の実態を明らかにすることは困難である。

こうした中で、宝泉坊と江戸の関係を漠然と窺がわせる史料として、芦嶽寺閻魔堂に安置される木造大勢至菩薩立像の修理銘木札があげられる。この尊像は、もと芦嶽寺講堂の阿弥陀三尊の脇侍とも伝えられるが、胸部にはめ込まれた修理銘木札には「寺中内武州江戸水野氏 大仏師義長回国□□致申候 以上 宝泉坊 相真坊 日光坊 吉常坊 宿真長坊、享保十年八月吉日」と墨書され、漠然とではあるが、宝泉坊と江戸との何らかの関係を窺がわせる。

ところで、まず、積極的な廻檀配札活動を繰り広げてきた江戸時代後期の宝泉坊歴代⁽¹²⁾を整理しておく、戸主は法円〔第44代目、文化元年(1804)7月17日没⁽¹³⁾〕→照円〔第45代目、天保13年(1842)2月29日or16日没⁽¹⁴⁾〕→泰音〔第46代目、明治30年(1897)3月4日没⁽¹⁵⁾〕の順で引き継がれた。これに伴い、檀那場及び廻檀配札活動の引き継ぎも、享和3年(1803)に法円から照円に、天保11年(1840)に照円から泰音に引き継がれた。そして泰音は明治元年(1868)まで勤め続け、明治維新の折、弟子興脈に譲ろうとしたが、廃止になったという⁽¹⁶⁾。

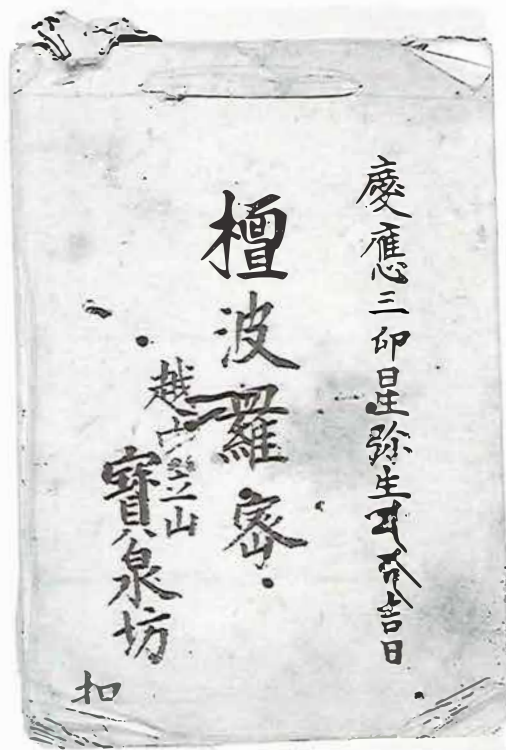
次に、本稿で中心的にとりあげる泰音(泰音の別名、少貳→大貳→佐伯左内智憲)の出自や当時の家族動向⁽¹⁷⁾を少し整理しておきたい。泰音は文政10年(1827)に福泉坊澄音の次男として生まれ、後に宝泉坊照円の養子となった。泰音の義母は「きく」(文化4年(1807)生まれ)、妻は玉仙坊義宣の長女「たく」(天保4年(1833)生まれ)である。泰音と「たく」の間には長男「和三郎」、長女「なお」、次女「ゆか」の3名の子供が生まれたが、「なお」(嘉永5年(1852)生まれ)が宝泉坊家を継ぎ、芦嶽寺村佐伯司馬光長次男の「永丸」(嘉永2年(1849)生まれ)と結婚した。これによって「永丸」が泰音の長男として登録され、宝泉坊家の47代目当主となった。

さて、こうした幕末期の宝泉坊の家勢状況が特に泰音の代に頗る良好であったことは、拙稿「芦嶽寺宿坊家の廻檀配札活動とその収益の行方」⁽¹⁸⁾に詳述しているので、そちらを参照していただきたい。また、本稿では分析対象時期を元治期から慶応期に限定しているが、ちなみに慶応元年(1865)、泰音は38才(満年齢)で、廻檀配札活動については

まさにベテランの域に達していた。

2.2 元治2年と慶応3年の東都廻檀日記帳（書誌）

芦峯寺雄山神社の所蔵として宝泉坊の元治2年（1865）と慶応3年（1867）の東都廻檀日記帳（写真③・④）が現存している。いずれも宝泉坊衆徒奏音が記したものである



写真③



写真④

が、それぞれの書誌は次の通りである。

【元治2年の東都廻檀日記帳】

表題：『檀那廻勤帳 越中立山寶泉坊精舎扣 元治二乙丑星正月（梵字）吉日』
（外題）

製作時期：元治2年（1865）正月

形態：横帳

法量：縦12.2cm×横18.0cm

対象地域：江戸（東都）・武蔵国・相模国

【慶応3年の東都廻檀日記帳】

表題：『檀波羅密 越中立山寶泉坊 慶應三卯星弥生（梵字）吉日』（外題）

製作時期：慶応3年（1867）4月

形態：横帳

法量：縦11.9cm×横17.3cm

対象地域：江戸（東都）

2.3 芦峯寺から江戸までの行程（往復路・日数）

以前、拙稿⁽¹⁹⁾で、宝泉坊の元治2年（1865）の東都廻檀日記帳から、同坊衆徒泰音の江戸までの往復路の行程を示した。それによると、泰音は弟子興脈と二人で、元治2年（1865）1月2日に芦峯寺を出発し、北陸道→北国街道→善光寺道→中山道を通して2月30日に江戸本郷に入っている。そして、それ以降、7月17日までの約4カ月半の間、弟子の興脈と別行動をとりながら、江戸御府内や武蔵国・相模国の各地で廻檀配札活動を行い、それを終えると7月17日に板橋を出発し、往路と同様の街道を通り、7月29日に芦峯寺に帰山している。

芦峯寺から江戸まで、復路が12日間で移動しているのに対し、往路はその3倍の38日もの日数を掛けて移動しているが、宝泉坊の場合、各街道筋にも特に定宿の信徒宅を中心に若干の信徒が存在し、往路はこうした信徒たちに対する勧進布教活動にかなりの時間をかけているのである。

これに対して、宝泉坊の慶応3年（1867）の東都廻檀日記帳からも、同坊衆徒泰音の江戸までの往復路の行程を窺うことができるので、その内容を第4表として提示しておきたい。

それによると、泰音は慶応3年（1867）3月12日に芦峯寺を出発し、飛驒街道→野麦街道→武石道→北国街道→中山道を通して4月1日に江戸本郷に入っている。そして、

それ以降、8月5日までの約4か月の間、弟子興脈と別行動をとりながら、江戸御府内の各地で廻檀配札活動を行い、それを終えると8月17日に芦峯寺に帰山するため板橋を出発した。復路は往路とは異なり、まず中山道を通り、途中からはずれて草津温泉に向かい、同地で3泊し、その後北国街道に出て、さらに北陸道を通って8月20日に芦峯寺に帰山している。往路は19日で移動しており復路は16日で移動している。

さて、おそらく例年は元治2年(1865)の場合にみられる行程をとるのであろうが、しかし、慶応3年(1867)の場合は特別な事情があった。すなわち、慶応3年(1867)の東都廻檀日記帳の最初の部分に「慶應三丁卯三月十二日、爰足、江戸小日向金明寺坂上新見内膳様飛州御郡代家仰られ夫ニ付、高山方中抜至来ニ付飛驒通罷越、芦峯屋源五郎高山迄連。」と記されように、宝泉坊の江戸の信徒の一人である小日向金明寺坂上の新見内膳は当時飛驒高山の郡代⁽²⁰⁾の職に就いており、たまたまこの年、高山陣屋に泰音を招いたため、例年の行程とは異なり、前掲の行程をとることになったのである。

高山では6日間滞在し各地で配札を行うかたわら、最終日には新規の檀那場を開拓するため、越前の本保領へも足を延ばしている。なお、慶応3年(1867)の場合、泰音は江戸に向かう際、興脈とは行動をともにしていない。そのかわりに高山までは芦峯屋源五郎を同伴させている(芦峯屋源五郎については後述する)。そして、高山で芦峯屋と別れ、芦峯屋は越中へ戻り、泰音は一人で江戸に向かうが、江戸では示し合わせて既に興脈が到着しており、例年通りの廻檀配札活動を行っている。また、この年の旅程は例年とは異なるので、野麦峠を越え、松本を経て信州上田にたどり着き、例年のコースにもどるまでは、当然のことながら宝泉坊の往来筋の檀那場は存在せず、元治2年(1865)の廻檀日記帳から窺われるような、往来筋の信徒に対する廻檀配札活動はみられない。それでも、慶応3年(1867)の東都廻檀日記帳の3月21日条に「高山二而金十兩毫分三朱三貫文二而、十兩国許へ送り候事。」とみられるように、高山の勧進活動だけで10兩1分3朱3貫文の収益をあげている。

ところで、江戸での廻檀配札活動を終えた宝泉坊の芦峯寺への帰山時期をみていくと、元治2年(1865)は7月29日、慶応3年(1867)は8月20日であり、6月10日前後の立山の山開きには全く間に合っていないうえに、芦峯寺の二大祭礼のひとつ6月14日・15日の立山大権現祭にも間に合っていない。そして、二大祭礼のもうひとつである8月24日の布橋灌頂会には、滑り込んでかろうじて間に合っている。

このような衆徒の身勝手な行動に対して、芦峯寺一山では罰則規定⁽²¹⁾をもうけている。すなわち、廻檀配札活動などで立山大権現祭や布橋灌頂会に出仕できない場合は金2分、また、帰山していても儀式に出仕しない場合は300文を罰則金として一山に支払う

ことになっていた。しかし、この規程に示す罰則金額は泰音の収入の規模と比べるとあまりにも安価であるため、泰音は全く動じず、慶応3年（1867）の場合は完全に帰山が遅れているにもかかわらず、帰路、3日間も草津温泉に滞在し湯治を楽しんでいる。

ところで、泰音のこのような行動は、芦峯寺一山の中で批判の対象となりかねないが、実際にはそうはならなかったはずである。その理由は次の通りである。以前拙稿⁽²²⁾で指摘したように、幕末期、宝泉坊は江戸の檀那場から得た莫大な収益金を加賀藩に祠堂金として度々預け入れていた。そして、その預金は芦峯寺が飢饉等の非常事態で困窮した際、救済基金としての機能を果たし、芦峯寺を助けていたからである。

2.4 芦峯屋源五郎について

宝泉坊泰音の廻檀配札活動を手助けしていたのが、富山藩領富山出町⁽²³⁾（町新庄村）の芦峯屋源五郎である。芦峯屋は芦峯寺一山と師檀関係を結んでおり⁽²⁴⁾、おそらく、その屋号からしても芦峯寺出身の商人と推測される。

宝泉坊の慶応2年（1866）の東都檀那帳の巻末には、雑記として「富山三度飛脚所、下谷池之端茅町式丁目、松平出雲守様飛脚所与尋。月ニ四日、十四日、廿四日出ル。富山出町芦峯屋源五郎殿也。」と記されており、飛脚業にたずさわっていたとも考えられる。そして、芦峯屋は泰音が廻檀配札の旅に出る際には、時に同伴することもあり⁽²⁵⁾、また、泰音が江戸での廻檀配札活動で頒布する品々を江戸の現地で調達する際には、芦峯屋が現地の業者との仲介者となり、泰音の代理で金銭的な交渉も行っている⁽²⁶⁾。

2.5 東都廻檀日記帳に見る廻檀配札活動の実態

江戸で廻檀配札活動を行った芦峯寺各宿坊衆徒の勸進活動の実態については、以前、拙稿⁽²⁷⁾で勸進方法の諸形態に着目し、それを①物品の頒布による勸進方法（護符頒布・血盆経の頒布・経帷子の頒布・反魂丹の頒布）、②祈禱奉仕による勸進活動（廻向料と別祈禱料・日月茶牌料・各所奉加）、③講による勸進活動（立山曼荼羅招講）の3種類に分類して概括的に論じた。

しかし、本稿の冒頭でも述べたように、檀那帳や廻檀日記帳に内在する情報量は膨大で、それを十分に活かして、或いは網羅的に目を通して論じてきたとはいいがたい。そこで本節では、旧稿の内容と多少は重複するが、宝泉坊の元治2年（1865）と慶応3年（1867）の東都廻檀日記帳の記載内容を再検討し、衆徒が行った勸進活動の実態をより精緻に捉え、旧稿を補足する。

まず、元治2年と慶応3年のそれぞれの東都廻檀日記帳の記載内容から、廻檀配札活

動の特徴がよく表れている事例を抽出し⁽²⁸⁾ 第5表を作成したが、以下、同表の内容に基づいて、(1)頒布品の種類、(2)祈禱の種類、(3)勅化帳による奉加の実態の3つの視点から分析する。

(1)頒布品・献上品の種類

泰音が信徒宅で頒布・献上していた品物は次の通りである。

【宗教的諸品】

宝泉坊家の場合、訪問した信徒宅で大黒天をわたすが、信徒はそれに対して初穂料を寄進するといった形態をとっている。大黒天に対し初穂料を寄進する形態については、他宿坊家の檀那帳や廻檀日記帳を管見する限り見当たらず、これは宝泉坊家の特徴といえる。なお近年、芦峯寺に所在する閻魔堂の床下から銅製と素焼製の大黒天像(写真⑤・⑥)が見つかった。この尊像の履歴は明らかではないが、宝泉坊衆徒が廻檀配札活動でわたしたとする大黒天が、案外このようなものであった可能性もありうる。

●写真⑤・写真⑥：芦峯寺閻魔堂の床下から発見された大黒天

法量：(銅造) 像高7.5cm×最大幅5.0cm×最大奥5.5cm 305g

(素焼き) 像高5.0cm×最大幅4.0cm×最大奥4.0cm 45g

所蔵：(銅造) 富山県 [立山博物館]

(素焼き) 富山県 [立山博物館]



写真⑤



写真⑥

一方、前掲檜那帳と廻檜日記帳に護符類としてあがっているものには、御札・牛玉宝印（大）〔写真⑦〕・大札・箱札・御守・上御寿命札・剣難除守がみられる。この他、大名屋敷では御供物や御幣なども献上している。また時には、反魂丹（300文）・布橋血脈（300文）・血盆経（2朱）、経帷子なども頒布されている。

さて、これらの中で、従来の研究では指摘されていないものに箱札がある。慶応3年（1867）の東都廻檜日記帳の4月11日の条には、この箱札に関する記載がみられ、それによると箱札とは、法量が長さ1尺3寸5分、幅4寸、深さ8分（いずれも内寸）の木箱に「立山大宮秘法供巻数 院主敬白」の文言の御札（御札の中にはさらに「御蠅尊」や「火防」、「一千護摩灰」などの内符が納められている）を200枚詰めたものであるという。そして、木箱は丁寧に奉書で上包みされていた。4月11日の条によると、衆徒泰音は本郷菊坂町つきぎ店上の指物屋吉五郎にこの木箱を47個作らせている。また、前掲東都廻檜日記帳の巻末に記された江戸での支出一覧によると、泰音は指物屋吉五郎に木箱の製作を依頼しており、その際、木箱ひとつの代金が2包で、それを30個作らせ60包を支払っている。

●写真⑦：宝泉坊の版木

表面 牛玉宝印（大）「立山之宝 寶泉坊」

裏面 血脈の内符

法量：縦19.1cm×横36.5cm×厚1.8cm

所蔵：富山市、金山又平氏



写真⑦

【日常品の諸品（土産として）】

史料中、衆徒が信徒への土産として持参する諸品のうち食用となるものに、椎茸(7000文)・飴・神奈川亀甲せんべい・海苔・蕨・蜜茸・葛袋・葛根・葛麦粉・ちんね漬・茶・砂糖・蕎麦がみられる。また、また日用生活用品的な土産として、足袋・(大丸) 盃・高山箸・水引・団扇・呂敷・手掛・たわし袋入がみられる。

なお、この中で、飴・海苔・神奈川亀甲せんべいについては、慶応2年(1866)の東都檀那帳の巻末メモに調達方法として「右例土産宅の江戸今川橋長井長右衛門方ニ而、うづ飴調ひる事。相模方より、のり長沢屋・堺屋隠居其外懇意之方々へ上ル事。其外懇意之方々へ考えて何か上ル事。渡辺氏、神奈川亀甲せんべい箱壹斗上ル事。」と記されている。

(2) 祈禱の種類（廻向・諸祈禱・招講）

第5表から窺われるように信徒宅では、諸品を頒布・献上するとともに仏前・神前で廻向や五穀成就の祈禱を行っている。

一方、慶応3年(1867)の東都廻檀日記帳の巻末には招講の勤修状況が一覧されており、それを表に示したものが第6表である。招講とは、信徒宅で立山曼荼羅の絵解きによって徹進布教を行うことであり、前掲史料の一覧にはのべ40件の勤修状況(期日・信徒宅)が掲載されている。廻檀日記帳の巻末の一覧には、「朝」・「昼」・「夕」の表記で招講を行った時間帯が記されている場合もあり、それによると夕方に行われる場合が比較的多いようである。また、堺屋の二十三回忌法要や花井氏の七回忌法要など、先祖の回忌法要と兼ねて行っている場合もみられる。数多くの信徒の中でも特に松平和泉守をはじめ渡辺氏、堺屋、寺嶋氏、長沢屋、来迎寺、仏母庵、新吉原講中など、宝泉坊の廻檀配札活動においては、とりわけ強力な外護者であったり、現地の世話人として毎年核心的な役割を果たしてくれる信徒宅が多くみられる。この他、牛込の来迎寺では、その内容は明らかではないが、布橋供養なるものを行っている。

(3) 勸化帳による奉加の実態

宝泉坊がどのような方法で諸大名に勸化を求めることができたかは、未だ不明な点が多いが、漠然とではあるもののそれを窺わせる事例がみられる。

本郷御弓町に居屋敷をかまえる永井太之丞は禄高2000石で書院番の役職を勤める旗本であるが、彼の妻芳善院は御本丸大奥に仕える善殊院(俗名リヲ)と懇意で、この善殊院から大名家など各所へ宝泉坊の勸化帳が廻され、記帳及び奉加を受けている。例えば、元治2年(1865)4月4日、善殊院より宝泉坊の別当勸化帳が各所へ廻され、御本丸をはじめ、霞ヶ関の安芸広島藩主松平安芸守や丹波綾部藩主九鬼長門守、紀伊紀州藩主か

ら記帳をうけたという。また、慶応3年(1867)7月25日、やはり永井氏の斡旋で、二ノ丸尾州殿・紀州殿・加州殿・筑後久留米藩主三田有馬守などより、大黒天の献上に対し初穂を受けている。

永井氏の事例以外には、湯島霊雲寺前に居屋敷をかまえる深谷左源太は禄高が500石で小性組を勤める旗本であるが、元治2年4月5日、御本丸勅化帳を殿様(人物の詳細は不明)に仲介している。

泰音自身が大名に直接勅化帳を依頼している事例としては、元治2年7月3日に彼自身が松平河内守に直接お目見えし、勅化帳に記帳を受けている。また、元治2年7月10日には、松平和泉守の居屋敷で和泉守本人にお目見えし、御札を献上するとともに、勅化帳を預け置いてきている。さらに同家中の家臣らに対する勅化帳は野原徳造が引き受け、野原氏には茶を献上している。なお、松平和泉守の居屋敷で殿(和泉守)への取り次ぎ役を担う御政と瀧瀬にも御札を献上している。

この他、新吉原の事例として、元治2年5月3日、柗伊勢屋三四郎に吉原講中の分として例年通り45軒分の大札と牛玉宝印(大)、茶などを託すとともに、吉原で記帳・奉加を受けるために勅化帳を託している。

2.6 江戸御府内での廻檀配札活動における衆徒の移動状況

第7表は元治2年(1865)の東都廻檀日記帳の記載内容を基に江戸滞在期間中の泰音の移動状況を1日ごとに示したものである。その際、期日別の宿泊家を機軸とし、さらに、1日のうちでその宿泊家にたどり着くまでの主な訪問先(信徒宅など)も示した。また、第8表は慶応3年(1867)の東都廻檀日記帳の記載内容を基に江戸滞在期間中の泰音の移動状況を1日ごとに示したものである。その際も期日別の宿泊家を機軸として示したが、同表では主な訪問先は割愛した。さらに、第7表と第8表から、泰音が江戸滞在中に訪問及び宿泊した信徒宅のうちで、比較的回数の多いものを第9表として抜粋した。

さて、以上のデータから次のことがわかる。泰音は、毎年、中山道を利用して江戸に入り、まず、本郷の三河屋彦市宅で一旦諸準備を調べてから、江戸での数カ月間にわたる廻檀配札活動にいとみ、そしてその最終日を四谷伝馬町の福田屋新兵衛宅で迎え、同宅で帰宅のための諸準備を調べて、あとは板橋まで信徒に見送られ芦峠寺への帰山の旅につくのである。

江戸での滞在期間中、泰音は多くの信徒宅のうち渡辺〔宥斎〕、長沢屋由松、福田屋新兵衛、其栄堂久八、三河屋彦市、寺嶋円藏、三河屋文七、三河屋藤四郎、河内屋興兵衛



図版A. 東都下谷絵図にみる衆徒の廻榎配札活動における移動の実態

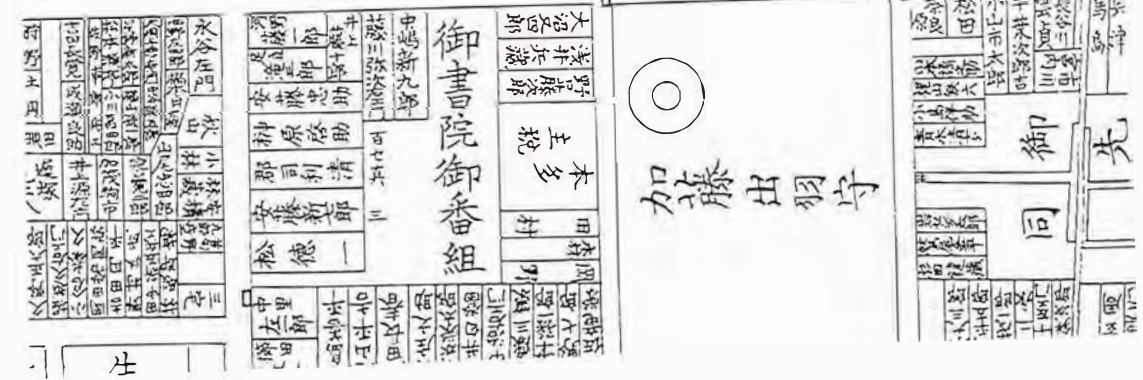
凡例：一、本図版は、『集約江戸絵図 中巻』（古板江戸図集成刊行会編、中央公論美術出版、1963年10月）に所収の「東都下谷絵図」を部分的に転載し、本稿で論を進める際に必要な箇所を修正を施したものである。



守

鳥居丹波守

加藤出羽守



らを定宿として頻繁に利用していたことがわかる。すなわち、泰音は江戸御府内の各地で廻檀配札を行う際、方面に応じて、これらの信徒宅を拠点にして出入りを繰り返している。

しかしながら、これはあくまでも衆徒泰音の動向であり、第7表から訪問先の傾向をみると、泰音はどちらかといえば、大名家や上級の旗本家、或いは特に熱心に世話をしてくれる商人宅ばかりを丹念に廻っているように感じられる。第1章5節でも推測したように、これに対しデータこそ存在しないものの、弟子興脈は、それを補うため、むしろ檀那場全体を一通り洩れなく廻るような配札活動を行っていたのではなかろうか。今後、衆徒の弟子の活動についても大いに検討の余地がある。

2.7 江戸切絵図にみられる立山信仰の信徒の居屋敷

幕末期の江戸切絵図には、宝泉坊の信徒たちの居屋敷が掲載されている場合があり、個人宅レベルや或いは大名の藩邸レベルで確認できたものを第10表に示した。

江戸切絵図には、商人や職人の信徒宅が個別に掲載されることはほとんどないが、武士身分や寺社関係は掲載される場合も多い。そして、こうした一例として、宝泉坊衆徒が廻檀配札活動を行う際に定宿を担い、万端にわたって便宜をはかり、いわば檀那場での中核となっていた渡辺円斎（両国村松町元矢ノ倉）や深谷小源太（湯島霊雲寺前）、石丸源五郎（深川森下町伊豫橋角）などの居屋敷を窺うことができる。

さて、以下、「東都下谷絵図」と「東都小石川絵図」に掲載された御徒町周辺の信徒宅の分布を捉え、一例ではあるが、衆徒の配札に伴う移動の実態をみていきたい。おそらく推測される衆徒の行程は第1図と第2図に示す通りである。

A. 東都下谷絵図にみる衆徒の廻檀配札活動における移動の実態

大沢新太郎（牛込馬場下一ツ橋様組屋敷）→小林茂十郎（下谷中御徒町中程）→木村定次郎（下谷中御徒町）→八木下友格（下谷中御徒町）→河野長十郎（下谷練堀小路）→深谷益五郎（下谷相生町新屋敷）

※御徒町通から中御徒町通に出て、さらに下谷練堀小路へ出る。

B. 東都小石川絵図にみる衆徒の廻檀配札活動における移動の実態

新見内膳（小石川金剛寺坂上 牛込神楽坂上行願寺内）→宮沢鉦之助（小石川同心町）→飯沼庭作（小石川鷹匠町）→鈴木岩五郎（小石川鷹匠町）

※金剛寺坂を登り小石川同心町の往來を通り、途中で鷹匠の往來に入り、三百坂通に出る。

この二つの事例をみる限り、下谷や小石川地域では隣3軒両隣的な関係の中で立山信

仰が受容されているわけではなさそうである。こうした実態は、第1章でみてきたように、都市部の檀那場の特徴であり、農作業などに基づき一村そのものが共同体的なつながりをもつ農村部の場合とは異なるといえよう。

2.8 廻檀配札活動による収益と支出

元治2年(1865)の東都廻檀日記帳の巻末には、諸大名などに対する奉加や別祈禱・廻向などの諸祈禱に対する布施収入、諸品の頒布による収入が集計されており、その総額は740両3分1214文と白銀1枚及び衣3枚となる。さらに、同年はこれ以外にも初穂料や反魂丹料が入ったと推測され、宝泉坊の収入はきわめて巨額である。ただし、元治2年の場合は、諸大名家への奉加が極端に多くみられ、その金額が収益金の大半を占めており、その年だけは例年とは異なった特別な勸進活動を行っていたといえよう。これに対し、宝泉坊の明治元年(1868)の東都廻檀日記帳の巻末の覚書によると、同坊は明治元年には初穂料を含まない収益として64両を芦峯寺に持ち帰ったことが確認でき、これぐらいの規模が同坊の廻檀配札活動による本来的な収益であると考えられる。

ところで、慶応3年(1867)の東都廻檀日記帳の巻末にも廻檀配札活動による収入と支出が書き出されているが、その内容を整理して第11表に示した。

衆徒泰音自身が日記帳に記す収入総額(この金額は支出額を差し引かない金額である)は145両である。ただし、その内訳については、例えば初穂料や廻向料は1件ごとに受領金額が詳記されており具体的に窺うことができるが、項目によっては大掴みに集計金額のみが記されている場合や、招講のように受領金のことは全くふれていない場合もあり、細部まで捉えることはなかなか困難である。なお、収入として日記帳にあげられている金額だけを集計すると107両1分2朱2貫400文4400銅となる。こうした収入の一部分は、日記帳の巻末の収入の一時的な預け入れメモに記されるように、渡辺氏(宥齋か)御隠居や長沢屋由松に数回にわたって61両1分が預けられている。

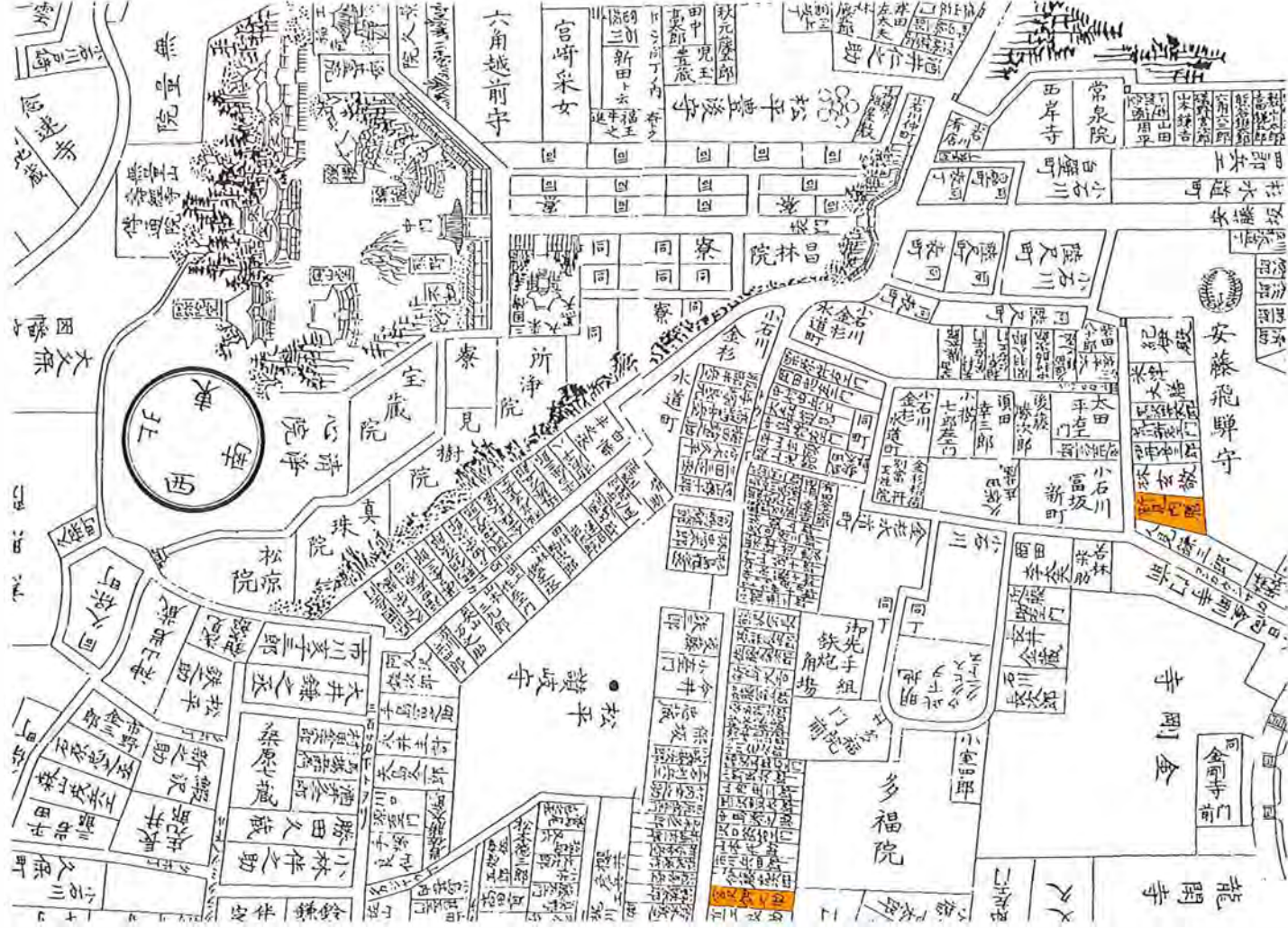
一方、支出については日記帳巻末に「江戸ニ而小懸」として江戸滞在中の諸支出を費目も含め詳記しているが、泰音自身による集計額は47両3朱29文で、これに路用7両を合わせ54両3朱29文となる。しかし、筆者が「江戸ニ而小懸」の金額を費目ごとに全て集計すると、実際には77両1分3朱726文135包となり、泰音の記載と大きく食い違った。今のところ両者間に誤差が生じた理由を明確に答えることはできないが、いずれの支出の場合も、収入総額から支出額を差し引いて、およそ50両から多くとも100両を越えない程度の金額が、実質的な宝泉坊の手取り収入となったようである。

さて、第12表は慶応3年の東都廻檀日記帳巻末に記載されている初穂料と廻向料につ



図版B. 東都小石川絵図にみる衆徒の廻樞配札活動における移動の実態

凡例：一、本図版は、『集約江戸絵図 中巻』（古板江戸図集成刊行会編、中央公論美術出版、1963年10月）に所収の「東都小石川絵図」を部分的に転載し、本稿で論を進める際に必要な箇所を修正を施したものである。



いて、その布施件数と金額及び総件数に対する割合を示したものである。

これによると、予定外の布施収入については、1朱以上2朱未満の布施が全体件数の33%を占め最も多く、次いで50疋から200疋の20%、2朱以上3朱未満の18%となっている。そして1分以上の布施は6%と極めて少ない。

初穂料の布施収入については、先程と同様、1朱以上2朱未満の布施が全体件数の44%を占め最も多く、次いで50疋から200疋の17%、2朱以上3朱未満の15%となっている。1分以上の布施は8%と少ない。廻向料の布施収入については、1朱以上2朱未満の布施が全体件数の42%を占め最も多く、次いで2朱以上3朱未満の39%、1分以上の10%となっている。

以上の内容を整理すると、布施の一般的な金額は、おおむね1朱以上3朱以下が全体件数の50%を越えていることがわかり、これが当時、立山の衆徒と師檀関係を結んだ江戸の信徒たちの布施金額の相場だったといえよう。また、廻向料は初穂料より布施金額が高かったことがわかる。さらに、宿家を担うような信徒家が必ずしも多額の布施を寄進しているとは限らない。むしろ江戸滞在中に何かにつけて世話になる衆徒の側に遠慮があり、平均的な金額を受け取っているようである。

おわりに

以上、芦峯寺宝泉坊の江戸の檀那場と廻檀配札活動の実態について、地元の史料の紹介を中心に若干の分析も行いながら検討を試みてきた。そしてその中で、今回、宝泉坊衆徒が廻檀配札の際に、信徒に大黒天像をわたし、それに対して初穂料を受けていたことや、芦峯屋源五郎のように廻檀配札活動をサポートする人物が存在したこと、或いは衆徒の江戸滞在期間中の移動状況など、新たに確認できた点もある。

一方、以前、旧稿「近世幕末期の江戸における立山信仰―越中立山山麓芦峯寺衆徒の江戸の檀那場での廻檀配札活動―」を発売した際、それを読んでいただいた岩淵令治氏（国立歴史民俗博物館）より、今後の課題として、江戸の人々と立山衆徒との関係形成の契機を問題にしてはとの御助言をいただいた。そして、例えば「定宿」をターミナルとした何らかの人間関係（地縁的結合・文化的関係の職縁など）、すなわち「定宿」を担った人物や「講」（内藤新宿や新吉原など）における信徒相互の人間関係を分析することの必要性を御指摘いただいた。これに対して、今回は幕臣の信徒について何人かの素性を明らかにしたが、それすらも衆徒との関係形成の契機を浮彫にするとところまでには至らず、多くの課題を残している。

本稿においては、東京でのフィールドワークがままならない状況から、未だ地元の史料の紹介といった段階で止まっており、本格的な分析には至っていないことを痛感する次第である。特に、岩淵氏より商人身分の信徒をはじめ各身分の信徒を分析する際に有効な方法をいろいろと御助言いただいたにもかかわらず、未だ実行に移せていない。今後はこうした点を反省しつつ、前述の課題を着実に詰めていけたらと考えている。

註

- 1) 福江充「立山略縁起と立山曼荼羅—芦峯寺宝泉坊旧蔵本『立山縁起』の紹介と考察—」『国文学解釈と鑑賞 特集物語る寺社縁起 第63巻12号』(至文堂、1998年12月)所収。福江充「立山山麓芦峯寺宿坊の檀那帳に見る立山信仰—立山信仰の伝播者芦峯寺衆徒の廻檀配札活動と檀那場」『情報と物流の日本史—地域間交流の視点から—』(地方史研究協議会編、雄山閣出版、1998年10月)所収。福江充「芦峯寺宿坊家の廻檀配札活動とその収益の行方」『富山市日本海文化研究所報 第21号』(富山市日本海文化研究所、1998年9月)所収。福江充「立山信仰にみる石仏寄進の一例—江戸の信徒による嬬堂境内六地藏尊石像の寄進—」『宗教民俗研究 第8号』(日本宗教民俗学研究会編、1998年6月)所収。福江充「近世幕末期の江戸における立山信仰—越中立山山麓芦峯寺衆徒の江戸の檀那場での廻檀配札活動—」『富山県[立山博物館]研究紀要 第4号』(富山県[立山博物館]、1997年3月)所収、後に『立山信仰と立山曼荼羅—芦峯寺衆徒の勸進活動—(日本宗教民俗学叢書4)』(岩田書院、1998年4月)に再録。福江充「立山講社の活動—近代化のなかでの模索—」『富山県[立山博物館]研究紀要 第3号』(富山県[立山博物館]、1996年3月)所収、後に『立山信仰と立山曼荼羅—芦峯寺衆徒の勸進活動—(日本宗教民俗学叢書4)』(岩田書院、1998年4月)に再録。
- 2) 芦峯寺宝泉坊の嘉永6年の東都檀那帳(芦峯寺—山会所蔵)については、『越中立山古記録 第2巻』の中で解説・校注され活字化されている。また、福江前掲書『立山信仰と立山曼荼羅—芦峯寺衆徒の勸進活動—(日本宗教民俗学叢書4)』所収の第9章「近世幕末期の江戸における立山信仰—越中立山山麓芦峯寺衆徒の江戸の檀那場での廻檀配札活動—」では、檀那帳の内容をデータベース化して一覧表で示している。
- 3) 福江前掲書「立山山麓芦峯寺宿坊の檀那帳に見る立山信仰—立山信仰の伝播者芦峯寺衆徒の廻檀配札活動と檀那場」『情報と物流の日本史—地域間交流の視点から—』50頁～54頁を参照のこと。
- 4) 岩淵令治「江戸住大商人の肖像—一場末の仲買高崎屋の成長」148頁～150頁の表8幕

- 末（嘉永7年）の幕府御用金上納にみる江戸大商人（『新しい近世史③ 市場と市場社会』所収、新人物往来社刊、1996年4月）を参照した。
- 5) 三河西尾藩主（6万石）松平和泉守〔乗全・乗秩〕や豊後杵築藩主（3万2千石）松平河内守〔親良・親貴〕については、福江前掲書『立山信仰と立山曼荼羅—芦峯寺衆徒の勸進活動—（日本宗教民俗学叢書4）』242頁～243頁を参照のこと。
- 6) 福江前掲書『立山信仰と立山曼荼羅—芦峯寺衆徒の勸進活動—（日本宗教民俗学叢書4）』242頁～243頁を参照のこと。
- 7・8) 旗本の小宮山利助と大沢主馬については、福江充「立山信仰にみる石仏寄進の一例—江戸の信徒による熾堂境内六地藏尊石像の寄進—」（『宗教民俗研究 第8号』所収、日本宗教民俗学研究会編、1998年6月）の中でより詳しくふれているので、そちらを参照のこと。
- 9) 宝泉坊の明治22年（1889）の東京市区檀那帳『東京市区 立山講社名記巡回簿 明治二十二年十一月改之』（芦峯寺雄山神社所蔵）に記された凡例によるもの。
- 10) 芦峯寺吉祥坊の嘉永期の『御祈禱檀那帳』（芦峯寺雄山神社所蔵）の巻末に記された檀那帳への記載法などの凡例。詳しい内容については、福江前掲書『立山信仰と立山曼荼羅—芦峯寺衆徒の勸進活動—（日本宗教民俗学叢書4）』207頁～208頁を参照のこと。
- 11) 「古代度々争論記」『越中立山古記録 第4巻』75頁、高瀬保編、立山開発鉄道株式会社、1992年6月25日。
- 12) 「由緒書上帳 立山芦峯寺事東神職 明治六年二月」『越中立山古記録 第3巻』241頁、廣瀬誠編、立山開発鉄道株式会社、1991年10月28日。
「四十四代 法圓 文化元甲子年七月十七日寂」
「四十五代 照圓 天保十三壬寅年二月二十九日寂」
「四十六代 佐伯左内」
- 13) 富山市月岡の真言宗龍高寺に残る宝泉坊法円の位牌による。
- 14) 『立山中宮寺跡石造物分布調査報告書』85頁、富山県〔立山博物館〕、1993年3月30日。（石造物B—180笠塔婆 金剛界大日如来座像。天保13年2月16日 宝泉坊照円死亡。）
- 15) 註14)前掲書、88頁、（石造物B—193角石標。明治30年3月4日 宝泉坊佐伯左内死亡。）。
- 16) 宝泉坊の明治22年（1889）の東京市区檀那帳『東京市区 立山講社名記巡回簿 明治二十二年十一月改之』（芦峯寺雄山神社所蔵）。明治22年（1889）に佐伯左内（泰音）

が作成した東京市区檀那帳の巻頭文によるもの。

- 17) 『戸籍人員詳細取調書上帳 第壹区四番組芦峯村 立山元東神職佐伯左内扣 明治五年』(芦峯寺一山会所蔵)、『王政御一新ニ付改名帳 立山芦峯社人 明治二巳年三月』「一、宝泉坊事、佐伯大弐(左内改)」。宝泉坊の嘉永6年の江戸の檀那帳『檀那帳 一山宝泉坊』(『越中立山古記録 第2巻』45頁、高瀬保編、立山開発鉄道株式会社、1990年4月26日、「(後筆) 御一新に付、立山旧神職佐伯左内、智憲ト改名」)。
- 18) 福江充「芦峯寺宿坊家の廻檀配札活動とその収益の行方」『富山市日本海文化研究所報 第21号』所収、富山市日本海文化研究所、1998年9月。
- 19) 福江充「立山山麓芦峯寺宿坊の檀那帳に見る立山信仰—立山信仰の伝播者芦峯寺衆徒の廻檀配札活動と檀那場」『情報と物流の日本史—地域間交流の視点から—』所収、地方史研究協議会編、雄山閣出版、1998年10月。
- 20) 小川恭一編著『寛政譜以降 旗本家百科事典(第2巻)』(東洋書林、1997年11月20日)。「新見内膳→居屋敷：小日向金剛寺坂、禄高：300石、役職：安政に大番本多組、慶応2年4月18日に大番より飛騨郡代、慶応4年4月24日に御役御免、本国：三河)」。新見内膳は飛騨高山郡代である(飛騨高山郡代は越中・加賀・美濃・越前に散在する幕府領の支配を兼ね20万石の格式であった。なお飛騨代官〔のち郡代〕の役所は旧領主金森重頼の娘たちが住んでいた向屋敷に設けられ、高山陣屋と称された。)。また、小日向金明寺坂の新見内膳の屋敷は江戸切絵図にみられ、安藤飛騨守(紀伊田辺藩主安藤直裕)の上屋敷敷地内に取り込まれている。
- 21) 「当山古法通諸事勤方旧記 芦峯寺 文政十二丑年五月改之」『越中立山古記録 第1巻』所収、33頁、廣瀬誠・高瀬保編、桂書房、1990年4月30日。
- 22) 註18) 福江前掲論文。
- 23) 宝泉坊の元治2年の東都廻檀日記帳(元治2年7月28日の条)〔芦峯寺雄山神社所蔵〕
 ～～前略～～木綿捨反調ひ。駕籠ニ乗新庄ト山芦峯屋源五郎方ニ参泊り。荷物等調候事。
- 24) 「当山速要御用留 定目代 天保十三壬寅年」『越中立山古記録 第2巻』所収、100頁、廣瀬誠・高瀬保編、桂書房、1990年4月30日。
 一当山院主檀那之内、富山御領芦峯屋源五郎儀、富山大守様御代替リニ者宗門御しらべ嚴重之儀ニ付、当春宗門之御吟味有之、別院主方方請書差出候処、又候印形御見合御取立方与して御役人衆式人被罷越、則目代方ニ而印鑑老紙相渡候事。
 金沢御領 立山芦峯寺
 一印鑑 本印

弘化四未年十一月

右委曲之儀ハ先例も有之、不時古帳ニ詳に記有之。

「雑書綴 芦峯寺 宝暦年間 寛政年間 享和年間 慶応 天保 文化」『越中立山古記録 第2巻』所収、257頁～258頁、廣瀬誠・高瀬保編、桂書房、1990年4月30日。

證文一札之事

一私共永々天台宗ニ而貴寺様之檀家ニ御座候処、今般御一新に付復飾被為成、葬方ニ指支離且之趣御申聞之段承知仕候。依之此以後富山寺町円證寺、天台宗ニ付右寺へ相頼、且家ニ相成候義相違無御座候間、何卒離且状御下ケ被下候様奉願上候。以上。

明治二己巳年年七月

富山出町芦峯屋 源五郎 (印) 芦峯寺源三郎 (印)

立山芦峯寺御院主様

25) 宝泉坊の元治2年の東都廻檀日記帳(元治2年3月1日の条)〔芦峯寺雄山神社所蔵〕
二(三の誤りか)月朔日。十條方江戸本郷菊坂台町三河屋彦市方へ参り候處、芦源迄廿八日、当府へ参り候左御断シ有之候ニ付、休足泊り。同二日朝、下谷無縁坂川村屋久左衛門方へ尋。芦源等彦市方へ至参り休足いたし、泊り。

宝泉坊の慶応3年の東都廻檀日記帳(慶応3年3月12日の条)〔芦峯寺雄山神社所蔵〕
慶應三丁卯三月十二日、爰足、江戸小日向金明寺坂上新見内膳様飛州御郡代家仰られ夫ニ付、高山方中抜至来ニ付飛驒通罷越、芦峯屋源五郎高山迄連。

26) 宝泉坊の元治2年の東都廻檀日記帳(元治2年3月10日の条)〔芦峯寺雄山神社所蔵〕
同十日。芦源綿屋治助仕入方ニ指支申ニ付、金子夫々調達いたし候事。左之通り兩替ニ出シ候。

一、金五両。拙坊上州等御初穂分。

三月三日

一、金拾五両。本郷菊坂台町魚屋文蔵殿分

三月八日。

一、金貳拾両。四ツ谷、福田屋新兵衛殿方可り分。

三月九日

メ金四十両、芦峯屋源五郎殿治助へ相渡シ候間、国許着之上御山方相送答ニ取究申候事。魚文・福田両家之分、拙坊初穂集、五月中ニ返済可申候事。

27) 福江前掲書『立山信仰と立山曼荼羅—芦峯寺衆徒の勸進活動—(日本宗教民俗学叢書4)』所収の第9章「近世幕末期の江戸における立山信仰—越中立山山麓芦峯寺衆徒の江戸の檀那場での廻檀配札活動—」246頁～261頁を参照のこと。

28)

宝泉坊の元治2年の東都廻檀日記帳

【元治2年3月4日の条】

「三月四日。彦市方本舟宿許へ参り、今川橋飴調、長沢屋由松殿江参り、荷物解、例年之通り葛箱壺ツ飴壺ツゞ武品為土産指上ル事。教蔵坊旭照師江戸見物出府被成候丹付、河内屋等三河屋江参り、吉祥坊・相栄坊等同宿仕候事。」

【元治2年3月7日の条】

「同七日。教蔵和尚御出立被成候。同日四ツ谷福田屋新兵衛殿江参り、荷物解、夫々相調理、葛箱・阿免指上ル事。」

【元治2年3月8日の条】

「三月八日。四ツ谷方渡辺様へ参り、例年通葛ニ阿免上ル。夫方深川沢田屋仁兵衛殿江参り、ぜんま以上ル。其晩泊り。」

【元治2年3月26日の条】

「江戸銀座四丁目人形屋久八方宿也。一、三百文、反魂丹分。一、三百文、布橋血脈代。一、金貳朱、血盆経代。」

【元治2年4月4日の条】

「四月四日。永井太之助様江参殿。昨年別當勅化帳芳善院様へ相願置候處、善殊院様等江御出シ之上、御本丸始霞ヶ関薬州様・三田有馬様・紀州様より記帳被為下置、別冊之通りニ候。冥加至極之義ニ御座候。御守ニ茶二御供ゞ三品。芳善院様。妙智院様。善殊院様。幾嶋院様。誓月院様。五方様方盃十ツツ包・高山者し壺ツツ・水引始、右札指上候事。佐市方へ行泊り。」

【元治2年4月5日の条】

「四月五日。天気。深谷左源太様へ例歳之通り牛玉守・茶十・御供・葛袋・者し壺ツ・ちんねづけ壺ツ・上御寿命札上ル。御本丸勅化帳、殿様ニ御授賜り候事。泊り。」

【元治2年4月8日の条】

「松平和泉守様へ参殿。御幣例歳之御札、殿様・御奥様分、葛壺袋・御札四枚、女中方ニ茶貳服ツツ指上、御目見仕、神前・仏前拝礼いたし候。是方深川大殿様へ参り、例歳御札貳枚・幣貳箱ニ御札四枚・蔵ちんね漬壺袋・葛箱壺ツ指上ル。尤大殿様・若殿様幸田掛書指上ル。御目見之上御出シ、外ニ御政様・瀧瀬様御札上ル。梅尾様にも上ル。女中方茶ヲ上ル。是御加持申上、夫方長沢屋へ帰り泊り。金貳百疋、例歳之通り。」

【元治2年4月9日の条】

「四月九日。本所仏母庵江足袋・御札上ル。夫方沢田屋行御札上ル。石丸源五郎殿参り泊り。」

【元治2年4月24日の条】

「四月廿四日。本所仏母庵江御絵図弘通ニ参り、風呂敷茶ツ并ニ興脈手掛茶箱被下。是方去廿三日夜、枳屋七左衛門様勤仕ニ付、廻向ニ参り候事。是方渡辺氏迄帰り泊り。」

【元治2年4月30日・5月1日の条】

「四月晦日。相栄坊等相別レ。書状指出し、是方芝僧上寺山内大師寮江山上仕、御隠居大宣和尚様江蜜茸茶瓶・内輪茶本・葛茶袋上ル。大栄和尚江盃五ツ・足袋茶束上ル。興堂和尚江盃五ツ・足袋茶束上ル。大師和尚江盃五ツ・足袋茶束上ル。右御隠居様始夫々江右之品々上ル。先年方万事御世話ニ成候尔付上ル。三田御隠居江血脈上ル事。又ハ経帷子上ル事。是方四ツ谷福田屋新兵衛へ行泊り。」

「五月朔日。曇り。興脈、芝山内大師寮江帷子十五枚指出し、三河屋文七殿へ二十二枚上ル。」

【元治2年5月3日の条】

「同三日。降り。吉原講中枳いせ屋方へ例歳之通り四十五軒分大札・大牛玉・茶茶ツ上ル事。大丸盃十為寄付指上ル事。勧進帳出しいたし置候事。是方つる蔦屋ニ昼食。渡辺氏泊り。本郷永井太之丞様方御手紙被下。(家紋)善殊院智譽妙通貞了大法尼・(家紋)芳善院清譽直到浄刹大法尼(永井家十世直道院裏方)、右二霊者、御本丸等方別當勧化御世話被下置候事尔付、為謝礼位牌相承候。」

【元治2年5月14日の条】

「五月十四日。外神田、松平中務大輔様江御札献上。台。殿様・若殿・奥様・御新造様・琴姫様・録平様メ六方様江上ル。外ニ葛茶ツ上ル。御目見いたし御加持申上候。一、金貳百疋・御奥様方方、関の戸たわし茶箱恵賜り。金三百疋、御札神被下置。是方京極様へ参り麗殊院様御札上ル。献上台ニ而御殿様方方。大坂方御帰り被成りて御札上ル事。渡辺氏帰り泊り。」

【元治2年5月18日の条】

「五月十八日。昼後方雷気。深川和泉守様江御目見仕、神前・仏前江拝礼いたし、御梅を殿江種々之品有之事。長沢屋江帰り泊り。」

【元治2年5月19日の条】

「五月十九日。天気。牛込来迎寺江参見。御絵伝弘通。布橋供養いたし、新幡通院御隠居様ニ御目ニ懸り勧戒有之。四生嘶し。十悪嘶し。～～」

【元治2年5月27日の条】

「五月廿七日。相模屋佐平治殿、招講ニ付、御絵図懸ケ、泊り。」

【元治2年閏5月23日の条】

「閏五月廿三日。松平和泉守様へ勅化帳指上候事。是方長沢屋帰り泊り。」

【元治2年7月2日の条】

「七月二日。天気。吉原講中之義、勅化帳之義ハ枿いせや三四郎方ニ預置来ル。～～」

【元治2年7月3日の条】

「七月三日。天気。外桜田。豊後杵築城主松平中務大輔様へ参殿仕、勅化帳御銘々様記帳被下。一、御奥様方廉衣・九條袷袢・座具・くんゞ四品被下置。一、林初瀬様方九條袷袢衣被下、右媼堂修行中、御祈念申上ル事。末満座支証上ル事。廣大恩徳難謝る事。備前町三河屋文七方ニ泊り。右衣仕立共代金五兩貳分与申る也。」

【元治2年7月10日の条】

「七月十日。松平和泉守様江御暇者上ル。御奥様等御嘶し。梅尾殿嘶有之候事。是方深川様へ参り上ル。本殿様御目見仕、種々御嘶し有之候事。五穀成就御祈禱被仰付候尔付、帰山執行之上、当年又来春成御札上ル事。度々書状上ル事。尤行中ハ代筆ニ而指上ル事。勅化帳預置、家中之義、野原徳造殿願置御世話被下□□殿茶半□上ル事。御政殿・瀧瀬殿方さ□褙袋□褙包被下、御札上ル事。西尾今井図書様上ル。川住市右衛門殿さと褙袋づつ、御札ニ劔難除守上ル。書状褙本上ル事。帷子三枚上ル事。是方渡辺氏帰り泊り。」

【元治2年7月17日の条】

「七月十七日。天気。福田屋方出立いたし、旦那様板橋迄御伴被下、其榮堂久八殿下町方四ツ谷出、又板橋迄御送り被下、板橋宿御関所御印鑑御覧ニ罷通り、福田屋旦那等ハ是方御帰り被成。上野宿昼食。同晩大宮宿細田屋泊り。」

宝泉坊の慶応3年の東都廻檀日記帳

【慶応3年4月6日の条】

「本郷方本舟町迄参り泊り。為土産椎茸貳朱求指上ル事。御札等大黒天相指上ル事。」

【慶応3年4月7日の条】

「渡辺友勝様、為土産葛麦粉褙袋・椎茸貳朱指上ル。御札・大黒天・血脈等買入指上候事。」

【慶応3年4月14日の条】

「四月十四日。天気。近江屋昼食。御札ニ大黒天上ル。志いたけ上ル。伊勢屋三郎兵衛殿夕飯。「慶應三丁卯年正月廿九日、證壽信士、五月十日、百十日也」右、朝夕廻向いたし候事。日牌之御嘶し有之候事。福田屋帰り泊り。」

【慶応3年4月15日の条】

「～～是方来迎寺忍帛和尚様へ参り足袋老束・箱札上ル事。～～」

【慶応3年4月18日の条】

「四月十八日。天気。仏母庵、足袋老束・大黒天上ル。枡屋へ廻向。沢田屋椎茸上ル。石丸様可ッ根上ル。椎茸上ル。妙丹廻向仕候事。是方船町帰り泊り。」

【慶応3年4月21日の条】

「四月廿一日。少々雲、一時斗降り。松平和泉守様へ上ル。御表様・御奥様箱札上ル事。戸田様ニも上ル。大黒天夫々上ル事。鈴木権太夫様へ椎茸等袋・くず・盃武ツ、メ三品上ル。河野様御箱札上ル事。深川様上ル。御箱武方様上ル。ぜんまい老者等・さ袋・盃武ツ・大黒天・たわし袋入老、お政様へ御礼ニ（中損）盃武ツ、外ニ大黒天上ル。野原徳造殿へ可ッ根・くず袋、手代盃武ツ上ル事。船町返り泊り。」

【慶応3年4月24日の条】

「四月廿四日、昼雨降り。昼後天気。本所仏母庵招講菩提六根嘶シ。～～」

【慶応3年4月27日の条】

「四月廿七日。天気。寺嶋様参り、足袋武束・椎茸七百文指上ル。大黒天上ル事。箱札上ル。本郷菊坂町魚文泊り。」

【慶応3年7月25日の条】

「七月廿五日。天気。永井様御暇者ニ上り候處、善殊院様御目ニ懸り御嘶し候事。二ノ丸尾州様紀州様加州様有馬様等方大黒天へ御初穂被下成候左之通。～～」

【慶応3年8月5日の条】

「八月五日。天気ニ而中風。福田屋方出立仕候。其栄堂久八板橋迄御送被下、～～」

第1表 宝泉坊の東都檀那帳（慶応2年）にみる檀那場の実態

掲載順	配札地	嘉永6年住所	信徒名	人数	宿数	職業	嘉永6年受納金	並	供	守	本	甚	著	足袋	高苔	金平	金	動	頒布品その他お土産	該当区
001	岡国元矢ノ倉	岡国村松町元矢ノ倉	渡辺有審(渡辺円斎・渡辺友壽とは同一住所)	1			1代替		1	1		1							餅・亀甲煎餅(小)1箱・茶	日本橋区
002	住所未掲載	江戸吾岸島老ノ橋角	中沢屋藤兵衛	1			1同名		1	1		1							餅・亀甲煎餅(小)1箱・茶	住所未掲載
003	本船町	本船町	長沢屋由松	1			1同名		1	1		1							餅・亀甲煎餅(小)1箱・茶	日本橋区
004	高国米沢町3丁目	高国米沢町3丁目	増田屋治郎兵衛	1		材木店	1同名	20	1	1									相模の時海苔2包	日本橋区
005	神田花園町代屋	神田花園町代屋	相屋伊助	1		家主	10	1												神田区
006	内神田吉永町麹店前	内神田吉永町麹店前	硝子屋新兵衛	1			1代替わり	20	1	1										神田区
007	横谷町		谷ツ村(相沢)与齋	1				1												日本橋区
008	本大坂町		本口彦蔵	1				20	1											日本橋区
009	本大坂町番屋		春日吉助	1				20	1											日本橋区
010	伝馬町1丁目新道安達や作三郎方	田所町(同家主成八字佐美屋)	高砂屋平吉	1			1同名	10	1											四谷区
011	難波町銀座新屋敷	旗本町銀座新屋敷内	清水米三郎	1			1同名													日本橋区
012	難波町銀座新屋敷	浪花町裏小路	頼屋常八	1			1同名	10	1											日本橋区
013	神田区玉が池の猿橋荷様前長屋		秋田屋仙吉	1		ねこ付や														神田区
014	銀座願院町本野出羽寺様御下屋敷内(駿河区沼津5万石)	本野出羽寺家薬師町中屋敷	佐々木左源太	1		本野出羽寺(駿河沼津藩士)	1同名	10	1											日本橋区
015	銀座願院町本野出羽寺様御下屋敷内		小川樗之助	1		本野出羽寺(藩士)														日本橋区
016	同藩(本野出羽寺家末)	本野出羽寺家薬師町中屋敷	井沢安治郎	1		本野出羽寺(藩士)	1同名	10	1											住所未掲載
017	愛宕下(本野出羽寺家末)		大高新兵衛	1		本野出羽寺(藩士)		10	1											芝区
018	同藩(本野出羽寺家末)		本岡保兵衛	1		本野出羽寺(藩士)		10	1											住所未掲載
019	同藩(本野出羽寺家末)	浜町(本野出羽寺様御内)	酒井門太夫	1		本野出羽寺(藩士)	1同名	10	1											住所未掲載
020	通町新道	通町新道	伊勢屋榮蔵	1			1同名	10	1											日本橋区
021	橋町2丁目	橋町2丁目	大黒屋惣七(大塚宗七)	1			1同名	10	1											日本橋区
022	馬喰町浅草豆腐前		松村文蔵	1				10	1											日本橋区
023	橋町1丁目	橋町1丁目	京屋清兵衛	1			1同名	10	1											日本橋区
024	神田富松町新道へ引越	元浜町河岸通り	伊勢屋栄助	1			1同名	10	1											神田区
025	橋町3丁目		大和屋(大野屋)源七	1				10	1											日本橋区
026	小塚町1丁目	小塚町1丁目横町	曾田平八	1			1同名	20	1	1										日本橋区
027	堀戸物町	堀戸物町	山形原庄三郎	1			1同名	20	1											日本橋区
028	伊勢町川岸	伊勢町川岸	富田屋源四郎	1			1同名	20	1	1		1								日本橋区
029	伊勢町		本村屋萬兵衛	1				10	1											日本橋区
030	本町4丁目		宿屋善兵衛	1				20												日本橋区
031	人形町通	田所町	大和屋半兵衛	1			1同名	10												日本橋区
032	人形町杉森庄助屋敷前	人形町杉森荷様御前	左官忠七	1			1同名	10					1					1		日本橋区
033	田所町字佐美屋敷前		平井氏	1																日本橋区
034	小塚町2丁目	小塚町2丁目	宮村嘉兵衛	1			1同名	20	1	1										日本橋区
035	本材木町1丁目角	本材木町1丁目角	伊賀屋甚右衛門	1			1同名	20	1	1										日本橋区
036	茅場町茶防前	茅場町茶防前	依屋喜三郎	1			1同名	20	1	1										日本橋区
037	茅場町	茅場町茶防前	伊勢屋大兵衛	1			1同名	20	1	1										日本橋区
038	日本橋通3丁目	日本橋通り3丁目	寿辰治郎	1			1同名	20	1	1										日本橋区
039	中橋富樫町2丁目		藤田屋右衛門	1				20	1											日本橋区
040	中橋大工横町		大工竹次郎	1																日本橋区
041	南船場町2丁目	南船場町2丁目	中屋五郎兵衛	1			1同名													京橋区
042	南船場町2丁目		武州屋金治郎	1																京橋区

掲載順	配札地	嘉永6年住所	信徒名	人数	宿数	職業	嘉永6年受納金	並	供	守	木	葛	著	足袋	海苔	金平	勤	頒布品その他土産	該当区
043	橋町2丁目	橋町2丁目	三河屋善助	1		茶店	1同名												京橋区
044	京橋柳町	京橋柳町	中屋幸助・田中忠兵衛	2		ヤスリカジ	1同名												京橋区
045	日本橋通1丁目横町	日本橋通1丁目横町	柏屋清兵衛	1		木印店	10	1							1				日本橋区
046	京橋柳町	京橋柳町	海老屋清兵衛	1		足袋店	1同名	20	1										京橋区
047	日本橋数寄屋町	日本橋数寄屋町	依屋長兵衛	1		寄主	1同名	20	1	1	1								日本橋区
048	柳町	柳町	徳方孝之丞	1		寄主	1同名	20	1							1	1		日本橋区
049	浅草新寺町	浅草新寺町	伊勢屋太兵衛	1		煙草店	1同名	20	1							1	1		浅草区
050	浅草野郎川町	浅草野郎川町	山形屋庄兵衛	1		シキイ店(憑き店か)	1同名	20	1										浅草区
051	浅草並木町	浅草並木町	産屋徳右衛門	1		下駄店	1同名	20	1			1							浅草区
052	浅草西仲町	浅草西仲町	伊勢屋(徳山)金蔵	1		質店	1同名	20	1										浅草区
053	山谷浅草町 出づれば木戸外	山谷浅草町	富士屋久三郎	1		茶屋	50	1											浅草区
054	山谷浅草町 傾し明神様先	山谷浅草町明神様先	筑波屋斯右衛門	1		質店	1同名	10	1										浅草区
055	新吉原方山谷八杉三丁目	新吉原江戸町1丁目	萬屋恒治郎	1			1同名	10	1	1								1袋	浅草区
056	新吉原大門口五十軒	新吉原大門外五十軒	雙馬屋正治郎	1			1同名	20	1	1									浅草区
057	新吉原大門口五十軒	新吉原大門外	尾屋久兵衛	1		下駄店	1同名	10	1										浅草区
058	新吉原京町1丁目	新吉原京町1丁目	松坂屋佐吉	1		質店	1同名	20	1										浅草区
059	新吉原京町1丁目2番地	新吉原京町1丁目2番地	岡村屋清右衛門	1			20												浅草区
060	新吉原仲町	新吉原仲町	近江屋徳兵衛	1			10	1											浅草区
061	新吉原江戸町1丁目	新吉原江戸町1丁目	伊勢屋安兵衛	1		質店	10	1	1										浅草区
062	浅草北馬道慈徳院寺内	浅草北馬道慈徳院寺内	佐野屋清兵衛	1		質店										1	1		浅草区
063	浅草諏訪町	浅草諏訪町	富山屋伊右衛門	1		道具店	1同名	10	1										浅草区
064	浅草仲町	浅草東仲町	伊勢屋治郎兵衛	1		質店	1同名	10											浅草区
065	浅草並木町	浅草並木町	上川屋徳右衛門	1		道具店	10	1											浅草区
066	浅草木町	浅草木町	波田屋徳之助	1		酒物	10								1				浅草区
067	浅草木町	浅草並木町	伊勢屋忠兵衛	1		金物店	1同名	10	1										浅草区
068	浅草東仲町	浅草東仲町	伊勢屋久右衛門	1		質店	1同名	10	1	1									浅草区
069	浅草東仲町	浅草東仲町	藤中原三郎	1		質店	10	1											浅草区
070	浅草東仲町	浅草東仲町	武蔵屋庄兵衛	1		質店	1同名	10	1										浅草区
071	浅草東仲町2丁目	浅草東仲町3丁目	吉屋屋徳助	1			1同名	20	1								1		浅草区
072	浅草水小路日音院地内	浅草雷門前日音院寺内いろは長屋敷5番	江坂下庵	1			1同名	20	1	1									浅草区
073	浅草山の宿川端	浅草山の宿川端	村田屋次兵衛	1															浅草区
074	浅草花川戸川岸	浅草花川戸川岸	道了寺徳興院	1			1同名	10											浅草区
075	浅草田原町2丁目うなぎ表新地	浅草田原町2丁目うなぎ表新地	鴻海屋清次郎	1			10												浅草区
076	浅草新天町	浅草北新町浅草北馬道延命院寺内	魚屋源太郎	1			1同名	10	1										浅草区
077	浅草寶願寺門前	浅草寶願寺門前	河内屋吉兵衛	1		異原		10	1										浅草区
078	浅草諏訪町川岸シ	浅草諏訪町川岸シ	和泉屋仁兵衛	1				20	1										浅草区
079	下谷榎小路	下谷榎小路	河野長三郎	1			1同名												下谷区
080	下谷中御徒町中程	下谷中御徒町中程	小林金平	1															下谷区
081	下谷藤堂様中屋敷西長屋下	藤堂様中屋敷西長屋下	近藤友吉	1		御坊主衆、藤堂和泉守(伊勢津藩士)	1同名	20	1	1	1					1			下谷区
082	下谷中御徒町	下谷中御徒町	八木下友格	1		御坊主衆	1同名	20	1	1	1								下谷区
083	下谷中御徒町	下谷中御徒町	木村兼貞	1			1同名	20	1	1	1								下谷区
084	下谷榎小路山名様隣り嶋田氏前	下谷榎小路山名様隣り嶋田氏前	嶋田勇三郎	1			10	1											下谷区
085	下谷三筋町東ノ通表門島	下谷三筋町東ノ通表門島	吉田門嘉	1		御坊主衆		20	1										下谷区
086	下谷三筋町	下谷三筋町	佐藤孫貞	1		御坊主衆				1									下谷区
087	浅草稻田原組屋敷	浅草稻田原組屋敷	三枝徳市郎・峯田徳郎	2			1同名	10	1	1									浅草区
088	下谷在行様御屋敷内	下谷在行様御屋敷内	中崎文八	1		佐竹右京大夫(出羽久保田藩士)	1代格	10	1										下谷区
089	下谷和泉橋通	下谷和泉橋通	佐藤政之助	1															下谷区
090	下谷和泉橋通	下谷和泉橋通	佐山金七郎	1															下谷区
091	下谷和泉橋通	下谷和泉橋通	浅井徳之助	1															下谷区
092	下谷東坂町	下谷重坂町	堀屋重兵衛	1			1同名			1	1								下谷区
093	下谷池之端仲町	下谷池之端仲町	堀屋次兵衛	1		茶屋店	1同名	20	1	1									下谷区

掲載 順	配祀地	嘉永6年住所	信徒名	人数 宿数	職業	嘉永6 年	受納 金	並	供	守	木	葛	箸	足袋	高杉	金平 積	勤	頒布品その他お土 産	該当区
094	上野広小路北大門町	上野広小路北大門町	薬物屋與兵衛	1		1同名	20	1											下谷区
095	外神田筋遠橋外	外神田佐久間町2丁目筋遠橋	内田吉右衛門	1	炭店	1同名	20	1											神田区
096	湯島男坂下		中村屋忠藏	1				1									1	印	本郷区
097	下谷広小路上野町		越後屋清吉	1	すや			1	1				1				1		下谷区
098	湯島中坂下		本牧屋七五郎	1	魚屋・道具屋			1	1				1			1			本郷区
099	根津惣門内大三ツ屋宅右側		近藤新三郎	1			20	1											本郷区
100	根津在竹様御屋敷内	根津高塚方(在竹様御屋敷之内)	岡崎丑之助	1	佐竹右京大夫(雨羽久保田藩士)	1同名	10	1											本郷区
101	根津在竹様御屋敷内	根津高塚方(在竹様御屋敷之内)	爪生頼母	1	佐竹右京大夫(藩士)	1同名	10	1											本郷区
102	根津在竹様御屋敷内		門脇玄亮	1	佐竹右京大夫(藩士)		10	1											本郷区
103	根津在竹様御屋敷内		藤七郎	1	佐竹右京大夫(藩士)		10	1											本郷区
104	根津根津門前 内砂様御屋敷	根津宮本町内砂様御屋敷内	宮野雄左衛門	1	内砂加賀守(藩士)	1同名	10												本郷区
105	谷中之先三河志摩守様御屋敷	虎ノ門内(三河志摩守内)	石井徳左衛門	1	三河志摩守(英作助山藩士)	1同名	10	1	1	1							1		麹町区
106	谷中之先三河志摩守様御屋敷		残山小倉吾(健三郎)	1	三河志摩守(藩士)														麹町区
107	根津寺子後		太田碧外	1	御坊主		20	1	1										北豊島郡
108	小川町築基門守様御屋敷内(山崎屋敷)		杉本健藏	1	稲葉長門守(山崎屋敷藩士)		10	1	1			1					1		神田区
109	小川町下倉太名小路		長浪伝左衛門	1	稲葉長門守(藩士)		10	1	1			1							神田区
110	小川町保松築地	葎藩	津田新之丞	1	稲葉長門守(藩士)	1同名	10	1	1										神田区
111	小川町保松		江村四郎助	1	稲葉長門守(藩士)		10	1	1										神田区
112	小川町太名小路辰ノ口		津田勇助	1	稲葉長門守(藩士)		10	1	1										神田区
113	小川町太名小路辰ノ口		山本力之助	1	稲葉長門守(藩士)		10	1	1										神田区
114	小川町太名小路辰ノ口		大崎松之助	1	稲葉長門守(藩士)		10	1	1										神田区
115	小石川御門内松平讃岐守様御中屋敷	松平讃岐守内	三笠平兵衛	1	松平讃岐守(讃岐高松藩士)	1同名	10	1	1	1			1						小石川区
116	小石川御門内松平讃岐守中屋敷		申打六之丞	1	松平讃岐守(藩士)			1	1	1			1						小石川区
117	小石川御門内松平讃岐守中屋敷		吉部又治郎	1	松平讃岐守(藩士)		10	1											小石川区
118	浅草寺町		中川孝藏	1	呉服店														浅草区
119	湯島松之番地		日原屋静助	1															日本橋区
120	湯島登雲寺前		深谷左衛太	1					1	1									本郷区
121	本郷御弓町直敷	本郷御弓町(※善殊院の住僧は年込神楽坂上)	木井太之丞・善殊院	2		1同名											1	寿帯札3人分・茶7つ・牛玉	本郷区
122	本所石原割下水		妙智院	1			20	1	1										本所区
123	小石川御草荷町		大和屋盛七	1	呉服店		10	1	1										小石川区
124	小石川御草荷町	江戸小石川御草荷町	尾張屋半七	1		1同名	10	1											小石川区
125	小石川向ふ町		喜沢野之助	1			20	1										1	小石川区
126	築地外四筋高山屋敷		金子辰治郎	1				1											京橋区
127	小石川廣保町		飯沼政吉	1	御坊主衆		10	1											小石川区
128	小石川廣保町		杉六郎吉郎	1			10	1											小石川区
129	小石川牛天神下広小路		中山南助	1			20	1	1										小石川区
130	本郷金助町	本郷金助町	小宮政吉	1			10	1											本郷区
131	駒込富士前町		實吉	1	露前店	1同名	10	1											本郷区
132	駒込邊分樋手組屋敷浄泉寺前	駒込邊分樋手組之内 徳之浄泉寺前	金子七右衛門(流行)	1	たつや安兵衛店 芋屋	1同名	10	1							1	1			本郷区
133	小石川富坂町		三嶋屋竹藏	1			10	1											小石川区
134	小石川大塚町		播磨屋辰治郎	1															小石川区
135	小石川大塚町		家主久兵衛	1	紙店														小石川区
136	小石川大塚町		太田屋定七	1															小石川区
137	小石川牛天神下藤筋町		河野小幡	1															小石川区
138	小石川本所林町		本多元治	1															小石川区
139	小石川金杉		中尾正治	1															小石川区
140	本郷丸内内御様御屋敷		藤田伝藏	1	白部伊豫守(備後福山)														本郷区

掲載順	配祀地	嘉永6年住所	信徒名	人数	積数	職業	嘉永6年	受納金	並	供	守	木	葛	著	足袋	袴	金平	勤	頒布品その他土産	該当区
	内					藩士														
141	本郷白山		女川屋播七	1		たわしや店														本郷区
142	相摩野原町		小何物屋金八	1																北條島郡
143	小石川西富坂上御 掃除組屋敷内	小石川西富坂上御 掃除組屋敷内	寺崎内蔵	1			1同名	20	1	1			1袋		1					小石川区
144	小石川伝通院前		相模屋佐平治	1				20	1	1							1			小石川区
145	小石川伝通院前	小石川伝通院前表 町	栴屋与七	1			1同名	20	1								1	1		小石川区
146	牛込通寺町		掃す屋(以下利誘でき ず)	1		金物店														牛込区
147	小石川仲町		丸屋尊徳	1		豆腐や		10	1											小石川区
148	小石川蘆助町組屋敷		中田宗兵衛	1																小石川区
149	小石川		三宅九八郎	1																小石川区
150	小石川新坂本多様中屋 敷内		市村半内	1				10	1											小石川区
151	小石川金剛寺坂上 牛 込神楽坂上行願寺内	小石川富坂新町金 剛寺坂	新見内膳	1			1同名		1	1	1		1							小石川区
152	小日向水溜町		丸屋平助	1		呉服店		10	1											牛込区
153	高田馬場		甲川屋市右衛門	1		セシジ茶		10	1											牛込区
154	牛込作坂上御役印馬場 向角		無砂仁右衛門	1		植木店														牛込区
155	高田御下屋敷 松平和 泉守様内	牛込早稲田一橋屋 敷内	西尾七右衛門	1		松平和泉守(三河西尾 藩士)	1同名	10	1											牛込区
156	牛込御門之内主手四番 町		小宮山利助	1			1?	40	1	1	1									牛込区
157	牛込馬場下一ツ橋様組 屋敷	下谷和泉橋通青石 横町加藤様屋敷内	大沢新太郎	1			1同名	20	1											牛込区
158	牛込天神町先手田村原 平組同心		松井忠右衛門(忠兵衛)	1				20	1											牛込区
159	牛込原町2丁目願昌寺 裏		上原辰次郎	1				20	1	1	1									牛込区
160	牛込高田馬場下	牛込高田馬場下	正覚寺	1			1同名		1											牛込区
161	高田馬場下町家主嘉兵 衛		人形屋喜兵衛	1																牛込区
162	牛込	牛込高田馬場下	来迎寺	1			1同名		1	1	1			1	1					牛込区
163	牛込早稲田町	小石川西富坂上御 掃除組屋敷内	内田新助	1			1同名	10	1											牛込区
164	牛込原町1丁目		伊勢屋茂兵衛	1																牛込区
165	牛込赤坂下五軒町		加賀屋寛助	1					1						1	1				牛込区
166	牛込改代町		伊勢屋喜兵衛	1		古着店		20	1											牛込区
167	改代町		いせ屋卯八	1				20												牛込区
168	牛込馬場先片町		左宮豊次郎	1																牛込区
169	牛込古川町		上州屋作治郎	1		材木店														牛込区
170	牛込馬場先片町		大黒屋新兵衛	1				20												牛込区
171	横浜大田徳屋		岡田小次郎	1																武蔵国横濱
172	牛込神楽坂上行願寺内		若狭屋徳五郎	1		大工		20												牛込区
173	牛込神楽坂上行願寺前		万屋長兵衛	1		酒店														牛込区
174	麹町山王丹羽様御屋敷		河井勘太郎	1		丹羽左京大夫(陸奥二 本松藩士)														麹町区
175	牛込通寺町		栴屋与七	1																牛込区
176	牛込神楽坂上行願寺前		藩妻屋	1																牛込区
177	牛込神楽坂上行願寺前		鳩屋彦兵衛	1																牛込区
178	牛込神楽町		谷屋長徳	1																牛込区
179	虎ノ門外京極様御屋敷 屋敷		金精衛門	1		裁人御用人		20	1	1										麹町区
180	芝愛宕下	愛宕下	片桐石見守	1			1同名													芝区
181	芝愛宕下神保小路	愛宕下神保小路 (大沢主馬屋敷)	大沢主馬	1		大澤相模守	1同名								1箱					芝区
182	芝愛宕下神保小路大澤 主馬屋敷		飯谷小右衛門	1		大澤相模守の御用人	1代替													芝区
183	芝神明町播磨赤穂	芝神明町(春越中 守屋敷)	春越中守	1		春越中守(播磨赤穂藩 士)	1同名													芝区
184	芝神明町 御屋敷内	芝神明町(春越中 守屋敷)	勝川貞	1		春越中守(播磨赤穂藩 士)	1同名	10	1											芝区

掲載順	配祀地	嘉永6年住所	信徒名	人数	階数	職業	嘉永6年	受納金	並	供	守	木	葛	著	足袋	海苔	金平粉	勸	頒布品その他土産	該当区
185	芝神明町 御屋敷内		田中又八	1		森越中守(藩士)		10	1											芝区
186	芝神明町 御屋敷内	芝明神町(森越中守屋敷)	九鬼筋之丞	1		森越中守(藩士)	1同名	10	1											芝区
187	芝神明町 御屋敷内		登原新悦	1		森越中守(藩士)	1代替	10	1											芝区
188	芝神明町 御屋敷内		森原右衛門	1		森越中守(藩士)		10	1											芝区
189	芝新真屋町		深井田藤太郎	1																芝区
190	新橋山王町	新橋山王町	三河屋久治郎	1		料理店	1同名	10	1											芝区
191	京橋南相屋町	京橋南相屋町	阿波屋文左衛門	1			1同名	10	1											京橋区
192	新橋北相屋町	新橋北相屋町	伊勢屋清八	1			1同名	20	1	1										日本橋区
193	加賀町		中屋伊一郎	1																京橋区
194	愛宕下秋田様御屋敷内		伊勢屋與八	1		秋田安房守(陸奥三春藩商人)														芝区
195	新橋柴井町家主		大坂屋喜右衛門	1		家主・古道具店		10	1	1										芝区
196	芝口3丁目表通	芝口3丁目	崎屋甚七	1			1同名	20	1	1										芝区
197	芝明神前三嶋町	芝田川新通(通り)	羊瓜屋重兵衛	1		金道具店	1同名	10	1											芝区
198	芝口3丁目	芝口3丁目	伊勢屋中右衛門	1		米店	1同名	20	1	1										芝区
199	芝口1丁目		平笠屋幸七	1		皮店						1								芝区
200	柴井町		大坂屋忠兵衛	1				1	1	1			1							芝区
201	芝大橋二葉町		越後屋富次郎	1		餅店		1	1	1			1							芝区
202	芝大橋二葉町		羊屋長兵衛	1				1	1	1										芝区
203	板田橋前町		三河屋文七	1				1	1	1			1	1						芝区
204	芝田町8丁目	芝田町8丁目	和泉屋清兵衛	1		茶店	1同名	10	1	1			1	1						芝区
205	芝田町9丁目		遠州屋徳三郎	1		草履店		10	1											芝区
206	芝田町9丁目		萩原昌吉	1				10	1											芝区
207	芝田町9丁目		遠州屋嘉助	1		米店		10	1											芝区
208	高輪台町相川様南長屋前	松平和泉寺様御屋敷中(深川屋敷)西尾へ引越	山口屋吉吉	1		米店 店簿の記載部分に塗り潰しがあり未詳	1同名	20	1	1				1				1		芝区
209	芝伊豆子台町廻川様西長屋下	芝伊豆子台町	万屋安五郎	1			1同名	10	1											芝区
210	芝伊豆子台町	芝伊豆子台町	万屋権兵衛	1		質店・かい着店	1同名	20	1											芝区
211	芝伊豆子台町		福本たわし屋	1																芝区
212	芝伊豆子台町		大和屋想兵衛	1				20	1	1										芝区
213	三田其巳町1丁目		関元屋喜兵衛	1		砂糖屋		20												芝区
214	三田1丁目	芝三田1丁目	三河屋喜四郎	1	1	質店	1同名	20	1	1	1		1袋							芝区
215	三田松本町1丁目	芝松本町1丁目	万屋善吉	1		茶店	1同名	20	1											芝区
216	飯倉5丁目		万屋(渡辺) 小三郎	1		下駄店	1同名	10	1											芝区
217	飯倉5丁目		万屋(鈴木) 忠藏	1		下駄店(本店)	1同名	10	1											芝区
218	飯倉喜元町2丁目		本屋彌兵衛	1				10	1	1										芝区
219	芝田町2丁目		長坂屋珍七	1		餅店														芝区
220	芝汐留三角屋敷		大坂屋惣兵衛	1																芝区
221	芝汐留三角屋敷		大坂屋留吉	1																芝区
222	三田1丁目		家主兼七	1		家主														芝区
223	芝喜元町		三河屋庄三郎	1																芝区
224	日本橋裏門町1丁目		木原治右衛門	1																芝区
225	向島橋廻		時業軒	1																日本橋区
226	寺島打		臥業軒	1																日本橋区
227	魚戸須守近		宝住庵	1																日本橋区
228	三田松平阿波守様御屋敷内(阿波国徳島25万石)		森戸惣次	1		松平阿波守(阿波徳島藩士)		20	1	1										京橋区
229	三田松平阿波守様御屋敷内	南八丁目5丁目(松平阿波守様御屋敷内)	長成伝太郎	1		松平阿波守(藩士)	1同名	10												京橋区
230	三田松平阿波守様御屋敷内		武谷巨助	1		松平阿波守(藩士)	1同名													京橋区
231	三田松平阿波守様御屋敷内	南八丁目5丁目(松平阿波守様御屋敷内)	佐坂崎可	1		松平阿波守(藩士)	1同名													京橋区
232	三田松平阿波守様御屋敷内		阿清左衛門	1		松平阿波守(藩士)														京橋区
233	三田松平阿波守様御屋敷内	南八丁目5丁目(松平阿波守様御屋敷内)	岩村太郎	1		松平阿波守(藩士)	1同名													京橋区

掲載順	配祀地	新永6年住所	信徒名	人数	商號	職業	嘉永6年参年	立供	寺	木	島	省	足袋	高齒	金平	動	祭用品	の信持士	真当区
231	三田松平阿波守権御殿	敷内)	瓜河	1		松平阿波守(藩士)	1回名												京橋区
232	三田松平阿波守権御殿	瓜八丁堀5丁目(武谷新之助)	瓜河	1		松平阿波守(藩士)	1回名												京橋区
233	芝坂儀ビカノ隠岐守	敷内)	黒野久春	1		黒野久春	1回名	1											芝区
234	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
235	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
236	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
237	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
238	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
239	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
240	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
241	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
242	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
243	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
244	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
245	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
246	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
247	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
248	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
249	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
250	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
251	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
252	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
253	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
254	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
255	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
256	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
257	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
258	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
259	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
260	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
261	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
262	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
263	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
264	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
265	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
266	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
267	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
268	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
269	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
270	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
271	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
272	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
273	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
274	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
275	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
276	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
277	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区
278	芝坂儀の久松其手町	敷内)	高橋安五郎	1		高橋安五郎	1回名	1											芝区

用枝 項	配札地	嘉永6年住所	備後名	人数	宿数	職業	嘉永6 年	受納 金	並	供	守	木	糖	箸	足袋	海苔	金平 糖	動	頒布品その他お土 産	該当区	
279	四谷伝馬町新1丁目		山崎慶助兵衛	1				20												四谷区	
280	四谷伝馬町新1丁目		寿司屋清五郎	1				20												四谷区	
281	四谷伝馬町1丁目	四谷伝馬町1丁目 新道	福田屋新兵衛	1		足袋相屋	1同名	20	1	1		1				1	1			四谷区	
282	四谷伝馬町1丁目		近江屋源治郎	1				20	1	1										四谷区	
283	四谷伝馬町1丁目表通		茶屋八兵衛	1		たわし店		10	1											四谷区	
284	四谷伝馬町2丁目伊賀 町入口角		伊勢屋三郎兵衛	1		足袋店		20	1											四谷区	
285	料持できす		尾々崎屋金治郎	1		足袋店														料持できす	
286	四谷伝馬町1丁目		三河屋源助	1					1	1							1			四谷区	
287	榎町13丁目	榎町13丁目	伊勢屋善兵衛	1		米店	1同名	20	1	1								1		榎町区	
288	四谷伝馬町3丁目		福田屋徳兵衛	1				20	1								1			四谷区	
289	四谷伝馬町3丁目		三河屋新兵衛	1				20	1	1	1						1	1		四谷区	
290	四谷伊賀町かがや与申 味増屋近辺		那倉新十郎	1				10	1	1										四谷区	
291	四谷伊賀町かがや与申 味増屋近辺		那倉久成	1																四谷区	
292	四谷伝馬町3丁目	四谷伝馬町3丁目	池田屋伊之助	1		たわしや	1同名	20	1	1								1		四谷区	
293	新道表25号		牧野源治郎	1				10	1	1										生沢区	
294	内参新入口		三河屋徳兵衛	1		コシヤ		10	1											南豊島郡	
295	市谷本村町		鉄砲師寅吉	1																生沢区	
296	市谷本村町		三河屋大助	1				10	1										1	生沢区	
297	市谷本村町	四谷新道下町	三河屋源治郎	1			1同名	10	1											生沢区	
298	市谷本村町		那倉徳三郎	1				10	1	1										生沢区	
299	大久保新田堀玉権現汗 金三軒斗先		上原吉左衛門	1				20	1	1	1								1	南豊島郡	
300	青山善光寺 稲葉長門 守様		吉田録義	1		稲葉長門守(藩士)		10	1	1										1	赤坂区
301	青山善光寺 稲葉長門 守様		後藤彦吉	1		稲葉長門守(藩士)		10	1	1											赤坂区
302	四谷坂町		河野魚八	1				10	1	1											四谷区
303	榎町13丁目		室主龜治郎	1																	榎町区
304	四谷新道新屋敷戸田様 御屋敷内	四谷新屋敷(戸田 安之助様御下屋敷 内)	大竹寛毛彦	1			1同名	10	1												四谷区
305	土浦藩南六間廻り		山本元悦	1																	深川区
306	深川水代橋向か溝ぼ本 や裏二所		紅屋清吉	1				20	1												深川区
307	本所平庭からたち横町 ばら寺二所		岡田屋平蔵	1				20	1												本所区
308	南本所石原町		惠屋半兵衛	1		紙店		20	1				1								本所区
309	南本所石原町	本所石原町	中村屋重兵衛	1		質店	1同名	20	1									1			本所区
310	南本所吉岡町1丁目		橋屋金蔵	1		和房		10	1												本所区
311	深川東平野町	深川東平野町	近江屋季左衛門	1		材木店	1同名	20	1	1				1				1	1	1	深川区
312	深川本之目		信濃屋和助	1																	深川区
313	深川本之目		近江屋季右衛門	1		材木店		20	1	1								1	1		日本橋区
314	深川中本堀吉永町	深川中本堀吉永町	和泉屋七郎兵衛	1		材木店	1同名	20	1												深川区
315	深川北六間廻り可し 橋	深川北六間廻り下 橋	沢田屋仁兵衛	1		材木店	1同名	20	1		1										深川区
316	深川本場	深川八幡表本場わ ぐら廻り	山本屋喜兵衛	1		材木店	1推測	20	1	1											深川区
317	深川北六間廻り		三河屋徳兵衛	1																	深川区
318	本所老之目角	本所老之目角	喜多川清兵衛	1		質店	1同名	10	1	1											深川区
319	本所香取(母屋橋)		升屋七左衛門	1				20	1											1	本所区
320	本所香取	北本所馬場町	仏母屋(宗廟寺)	1		庵主	1同名	20	1												本所区
321	深川富川町	深川富川町	橋物師寅吉	1		家主源太郎店	1同名	10	1	1				1							深川区
322	深川扇橋	深川扇橋方江町	橋野屋伊兵衛	1		茶店	1同名	10	1												深川区
323	深川扇橋富川町	深川扇橋富川町	尾松屋吉兵衛	1		かるやきや	1同名	10	1												深川区
324	深川西町		堀屋伊左衛門	1		茶種店		20	1												深川区
325	深川西町		牧田屋善兵衛	1		切しや			1	1											深川区
326	深川西町角	深川扇橋西町	丸屋及左衛門	1			1同名	10	1												深川区
327	深川扇橋町		中村屋鉄五郎	1		相店		10	1												深川区
328	深川扇橋富川町		山崎屋仁兵衛	1		茶ふや(豆粉屋)															深川区

掲載順	祀地	嘉永6年住所	信徒名	人数	宿敷	職業	嘉永6年	受納金	並	供	守	木	甚	著	足袋	高杉	金早	勤	頒布品その他お土産	該当区
329	深川厩橋東町	深川厩橋東町	阿波原利兵衛	1		蕎麦店	1回名	10	1											深川区
330	深川厩橋西町		牛島屋三郎兵衛	1		豆腐店			1	1								1		深川区
331	深川上木地二好町		伏見屋藤右衛門	1				20	1	1										深川区
332	深川持役表門前		中井接吉	1					1	1		1		1						深川区
333	深川玄の垣通とうふや敷		淡原金八	1					1											深川区
334	深川厩橋西町		川喜多屋新蔵	1		酒店														深川区
335	深川厩橋西町		増田屋弥吉	1		舟宿														深川区
336	深川厩橋西町		家根屋政清郎	1																深川区
337	深川厩橋西町		伊勢屋儀兵衛	1		酒店														深川区
338	深川本町3番地		住立屋留五郎	1																深川区
339	深川本町		辰口屋武兵衛	1		蕎麦店														深川区
340	深川玄の垣石橋町		小口屋三郎	1		家主														深川区
341	深川松中橋		家玉安治郎	1		家主														深川区
342	深川松中橋		加間屋兵衛	1																深川区
343	深川富川町(仙石様下屋敷)		森喜蔵	1		仙石播磨守(真馬出石様上)														深川区
344	深川御行蔵前		近藤清治郎	1																深川区
345	彌谷町		相忍あんま	1		一向茶														日本橋区
346	本所石原町川松方脚役宅内		佐藤祥蔵	1																本所区
347	横山町3丁目9番地		川嶋林太郎	1																日本橋区
348	本所一ノ橋弁天地内		堀田作兵衛	1																本所区
349	本所三等町		中村由作	1																本所区
350	本所石原町酒店中村屋隣り		林屋錢八	1												1				本所区
351	本所片町		梅川摩	1		そばや														本所区
352	横山 妙見様手前		石井太郎右衛門	1																南葛飾郡
353	武州西葛西砂打之内八郎右衛門新田 四十町		榎本善右衛門	1																南葛飾郡
354	武州西葛西砂打之内八郎右衛門新田 四十町		吉野老右衛門	1																南葛飾郡
355	武州西葛西砂打之内八郎右衛門新田 四十町		榎本文右衛門	1																南葛飾郡
356	本所石原雨割下木今井様近辺		河田九郎次郎	1																本所区
357	深川本町		吉野屋清蔵	1		茶店														深川区
358	本所様町2丁目		榎屋忠兵衛	1		産物店														本所区
359	本所若町4丁目 右側		市川政次郎	1																本所区
360	本所中ノ郷竹町	高輪台町細川様前	天和屋源七	1		米店	1回名	10	1											本所区
361	本所中ノ郷竹町	本所中ノ郷竹町	下松屋友右衛門	1		米店	1回名	10	1											本所区
362	本所中ノ郷竹町		伊勢屋良左衛門	1		餅店			10	1										本所区
363	本所表町		加川屋興兵衛	1		質店			10	1										本所区
364	本所表町		和泉屋孝兵衛	1		茶店			10	1										本所区
365	元町		加茂屋戸七	1					20	1										本所区
366	南本所石原町片町	南本所石原町梅町	左衛門喜蔵	1		せんべい屋	1代務	10	1								1			本所区
367	本所桜畑火の見ノ下近		左衛門喜蔵	1			1回名		1											本所区
368	本所石原町		しろほくき屋竹治郎	1					10	1										本所区
369	本所石原町火の見ノ下		加賀屋繁蔵	1		油店			10	1										本所区
370	本所様町4丁目1番地	小石川台番坂上御持除組屋敷内	釜屋伊兵衛	1			1回名	20	1	1								1		本所区
371	本所桜畑火の見ノ下		萬吉五郎	1					10	1										本所区
372	本所北割下木組屋敷		藤崎宗蔵	1																本所区
373	本所北割下木組屋敷		加藤元七	1																本所区
374	本所松井町2丁目		太田屋寛太郎	1					20	1	1			1						本所区
375	本所松井町2丁目		太田屋喜三郎	1		新間屋			20	1	1									本所区
376	本所松井町2丁目		太田屋徳三郎	1					20	1	1									本所区
377	本所		酒井新兵衛	1					10	1										本所区
378	深川 田安様御蔵屋敷		飯沼重南郎	1		田安邸(家臣)			10	1	1									深川区

掲載順	配札地	嘉永6年住所	信徒名	人数	宿数	職業	嘉永6年受納金	並	供	守	木	葛	著	足袋	高替	金平櫓	勤	頒布品その他お土産	該当区
379	本所大川端 推木松清		玉置行春	1															本所区
380	榎野屋敷内		京屋八兵衛	1				1											深川区
381	深川高川町		十方屋五郎	1			20												深川区
382	深川森下町伊豫橋角	深川森下町伊豫橋	石井桂次郎	1			1回名	1	1	1									深川区
383	本所北町下水仲町		近江屋兵吉	1			20	1											本所区
384	本所北町下水新町		近江屋兵吉	1			20	1											深川区
385	深川北町下幸手前舟宿		舟宿	1			20	1											深川区
386	深川水代寺門前		山本町家主	1			20	1	1										深川区
387	深川西平野町		小口屋幸吉	1				1	1				1						深川区
388	豊原島四日市中ノ橋	豊原島中橋通り四日市町	徳嶋屋平助	1			1回名	20	1										京橋区
389	八丁堀亀島橋向長崎町	八丁堀亀島橋向長崎町	福屋平八	1		材木店	1回名	20	1										京橋区
390	豊原島本湊町2丁目	東湊町2丁目	五屋次吉	1			1回名	20	1										京橋区
391	豊原島本湊町1丁目		越後屋	1		家主		1		1									京橋区
392	豊原島新町二橋		遠州屋市太郎	1			20	1	1										京橋区
393	南新町相模屋与申谷屋向		山田源七	1				1	1										京橋区
394	八丁堀松平阿波守様街屋敷内		長谷川次兵衛	1		松平阿波守(藩士)	10	1											京橋区
395	八丁堀松平阿波守様街屋敷内		福向門左衛門	1		松平阿波守(藩士)	10	1											京橋区
396	八丁堀松平阿波守様街屋敷内		武谷大蔵	1		松平阿波守(藩士)	10	1											京橋区
397	八丁堀松平阿波守様街屋敷内		横瀬和三式	1		松平阿波守(藩士)	10	1											京橋区
398	鉄砲洲細川能登守様小橋町屋敷	鉄砲洲(細川能登守様屋敷内)	間口達之助	1		細川能登守(肥後熊本新田藩士)	1代替	10	1	1			1						日本橋区
399	同藩	鉄砲洲(細川能登守様屋敷内)	新井保五郎	1		細川能登守(藩士)	1回名	10	1										日本橋区
400	南八丁堀本多下総守様屋敷内		松井惣助	1		本多下総守(近江關所藩士)	1回名	10	1										京橋区
401	築地門跡裏備前橋向	築地門跡裏備前橋前	鈴木宗斎	1			1回名	1	1				1箱			1			京橋区
402	深 新葉様御屋敷内		中川與四蔵	1		稲葉長門守(藩士)	10												住所未掲載 神田区
403	深 山崎通橋向表御役		橋川庄蔵	1															住所未掲載
404	上州七日市前田舟後守様内		大崎喜三郎	1		前田舟後守(上野七日市藩士)													麹町区
405	麹町平川町		生嶋孫三郎	1			1回名												浅草区
406	新吉原	新吉原	会所四郎兵衛	1		新吉原関係													浅草区
407	新吉原	新吉原	長崎屋喜兵衛	1		新吉原関係													浅草区
408	新吉原	新吉原	信野屋とわ	1		新吉原関係													浅草区
409	新吉原	新吉原	海老屋よし	1		新吉原関係													浅草区
410	新吉原	新吉原	佐藤長四郎	1		新吉原関係	1回名												浅草区
411	新吉原	新吉原	尾張屋大兵衛	1		新吉原関係	1回名												浅草区
412	新吉原	新吉原	太桑屋平蔵	1		新吉原関係	1回名												浅草区
413	新吉原	新吉原	滝原清兵衛	1		新吉原関係													浅草区
414	新吉原	新吉原	大黒屋吉兵衛	1		新吉原関係													浅草区
415	新吉原	新吉原	丹屋七右衛門	1		新吉原関係	1回名												浅草区
416	新吉原	新吉原	大和屋久兵衛	1		新吉原関係													浅草区
417	新吉原	新吉原	大黒屋正蔵	1		新吉原関係													浅草区
418	新吉原	新吉原	大黒屋仁兵衛	1		新吉原関係													浅草区
419	新吉原	新吉原	兵衛屋与の	1		新吉原関係													浅草区
420	新吉原	新吉原	近江屋平四郎	1		新吉原関係	1回名												浅草区
421	新吉原	新吉原	吉川屋吉兵衛	1		新吉原関係													浅草区
422	新吉原	新吉原	岡野屋須多	1		新吉原関係													浅草区
423	新吉原	新吉原	伊勢屋久兵衛	1		新吉原関係													浅草区
424	新吉原	新吉原	葛屋大兵衛	1		新吉原関係													浅草区
425	新吉原	新吉原	越前屋貞之	1		新吉原関係													浅草区
426	東京日本橋呉服町		大茂屋五右衛門	1															日本橋区
427	新吉原	新吉原	大茂屋五右衛門	1		新吉原関係													浅草区
428	新吉原	新吉原	東屋圭津	1		新吉原関係													浅草区
429	新吉原	新吉原	坂門屋以勢	1		新吉原関係													浅草区

京江 六ノ祭米田江戸の立山仁仰

用紙 順	配札地	嘉永6年住所	信託名	人数 留数	職業	嘉永6 年	受納 金	並 供	守	木	葛	器	足袋	高杉	金平 粉	勘	絹布品その他お 土産	政当区	
430	新吉原		森田屋ツツ	1	新吉原関係													浅草区	
431	新吉原		林栄又治郎	1	新吉原関係													浅草区	
432	新吉原	新吉原	松屋新八	1	新吉原関係	1	同名											浅草区	
433	新吉原		梶田屋六太郎	1	新吉原関係													浅草区	
434	新吉原	新吉原	尾花屋五兵衛	1	新吉原関係	1	同名											浅草区	
435	新吉原	新吉原	淡屋佐兵衛	1	新吉原関係	1	同名											浅草区	
436	新吉原		はるよし屋伊三郎	1	新吉原関係													浅草区	
437	新吉原 京町 江戸町2 丁目角		井見屋仁三郎	1	新吉原関係													浅草区	
438	新吉原		中尾屋三郎	1	新吉原関係													浅草区	
439	新吉原		武蔵屋喜代	1	新吉原関係													浅草区	
440	新吉原		大坂屋忠兵衛	1	新吉原関係													浅草区	
441	新吉原		和泉屋沙き	1	新吉原関係													浅草区	
442	新吉原		高角屋	1	新吉原関係													浅草区	
443	新吉原		尾行屋字め	1	新吉原関係													浅草区	
444	新吉原		桐屋佐七	1	新吉原関係													浅草区	
445	新吉原	田町2丁目又八茶 屋町共云云	折伊勢屋三四郎	1	新吉原関係	1	同名										風呂敷・手巾2枚 ・大札・大牛玉・ 茶	浅草区	
446	深川 安台 下 八幡 芝	甲子屋出 入	笠屋常吉	1														深川区	
447	新吉原 江戸町2丁目		峯廻屋正兵衛	1	酒店											1		浅草区	
448	深川 扇橋 向地蔵橋 町		太尾通右衛門	1												1		深川区	
449	判読できず		松山彰(以下判読できず)	1														判読できず	
450	芝(以下1字判読できず) 下町2丁目1番 水夫堂前ノ内		山田勝吉	1														芝区	
451	横濱 吉田 新田 改取長 屋 町		会所清え七	1														武蔵国横浜	
452	横濱		吉田良平	1														武蔵国横浜	
453	横濱 元村3丁目ハツ 村 内		大工平左衛門	1														武蔵国横浜	
454	深川		松平和泉守(大殿様)	1	松平和泉守(三河西尾藩主)	1	推測				1	箱					書札・牛玉・茶2 つ・門札4枚ずつ	深川区	
455	深川		松平和泉守(殿様)	1	松平和泉守(三河西尾藩主)	1	推測											深川区	
456	深川		松平和泉守(御殿様)	1	松平和泉守家族	1	推測											深川区	
457	深川		松平和泉守(岩殿様)	1	松平和泉守家族	1	推測											深川区	
458	茅場町		梅尾	1	松平和泉守使用人	1	推測											書札・牛玉・茶2 つ	本所区
459	深川		木政	1	松平和泉守使用人	1	推測											書札・牛玉・茶2 つ	深川区
460	深川		澁瀬	1	松平和泉守使用人	1	推測											書札・牛玉・茶2 つ	深川区
461	深川・国許		今井因書	1	松平和泉守(三河西尾藩主)			1	1	1			1					深川区	
462	木挽町	松平和泉守様御家中(深川屋敷)	鈴木権太夫	1	松平和泉守(藩主)	1	同名	1	1	1	1	1						京橋区	
463	国元・東ノ丸	松平和泉守様御家中(深川屋敷)	松平正兵衛	1	松平和泉守(藩主)	1	同名	1	1	1								三河国西尾	
464	国元・東ノ丸	松平和泉守様御家中	藤田勝馬	1	松平和泉守(藩主)	1	同名					1						深川区	
465	深川		川住市右衛門	1	松平和泉守(藩主)	1	同名	1	1	1								深川区	
466	深川		鈴木貞	1	松平和泉守(藩主)	1	同名	1	1	1			1	袋				深川区	
467	国元・新屋敷		大野登橋	1	松平和泉守(藩主)	1	同名											三河国西尾	
468	深川	松平和泉守様御家中(深川屋敷)西尾へ引越	今井直枝	1	松平和泉守(藩主)	1	同名	1										深川区	
469	木挽町		藤巻徳次	1	松平和泉守(藩主)	1	同名											京橋区	
470	木挽町	松平和泉守様御屋敷(深川屋敷)西尾へ引越	斎藤貞吾	1	松平和泉守(藩主)	1	同名	1										京橋区	
471	国許・新屋敷		松平和泉守様御家 野原徳清	1	松平和泉守(藩主)	1	同名	1	1									三河国西尾	

掲載順	配祀地	嘉永6年住所	宿名	人稱	経緯	職業	嘉永6年	受封金	供立	寺	水	馬	著	足袋	高岩	金平	勤	願布品その他お土産	該当区
372	深川	中(深川屋敷)西尾八引屋	小浜三	1	松平和泉守(藩主)	1	1同名	1											深川区
373	深川	松平和泉守様御家	須藤善兵衛	1	松平和泉守(藩主)	1	1同名	1											深川区
374	深川	中(深川屋敷)	藤野平兵衛	1	松平和泉守(藩主)	1	1同名	1											深川区
375	深川	松平和泉守様御家	澤野又兵衛	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
376	深川	中(深川屋敷)	小野庄兵衛	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
377	深川	中(深川屋敷)	佐野左衛門	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
378	深川	中(深川屋敷)	田中兵衛	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
379	深川	松平和泉守様御家	松平三郎治	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
380	深川	中(深川屋敷)	新藤助	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
381	深川	中(深川屋敷)	新藤助	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
382	深川	中(深川屋敷)	山主兵衛	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
383	深川	中(深川屋敷)	沼田兵衛	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
384	深川	中(深川屋敷)	長尾庄兵衛	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
385	深川	中(深川屋敷)	小幡源兵衛	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
386	深川	中(深川屋敷)	浅岡安治郎	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
387	深川	中(深川屋敷)	牧野所之助	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
388	深川	中(深川屋敷)	長谷川三郎	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
389	深川	中(深川屋敷)	藤原三之助	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
390	深川	中(深川屋敷)	浅井助司	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
391	深川	中(深川屋敷)	松本長海郎	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
392	深川	中(深川屋敷)	生松五郎山	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
393	深川	中(深川屋敷)	生松五郎山	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
394	深川	中(深川屋敷)	安藤文平	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
395	深川	中(深川屋敷)	安藤文平	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
396	深川	中(深川屋敷)	須田清之助	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
397	深川	中(深川屋敷)	榎本貞三郎	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
398	深川	中(深川屋敷)	杉野宗三郎	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
399	深川	中(深川屋敷)	山本東平郎	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
400	深川	中(深川屋敷)	山崎秀之助	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
502	深川	中(深川屋敷)	和藤清之丞	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
503	深川	中(深川屋敷)	名野清之丞	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
504	深川	中(深川屋敷)	名野清之丞	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
505	深川	中(深川屋敷)	藤原又右衛門	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
506	深川	中(深川屋敷)	和藤清之丞	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
507	深川	中(深川屋敷)	八木宗太郎	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
508	深川	中(深川屋敷)	福田久右衛門	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
509	深川	中(深川屋敷)	片野清之丞	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
510	深川	中(深川屋敷)	今月三郎	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
511	深川	中(深川屋敷)	高木清之丞	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
512	深川	中(深川屋敷)	伊田清之丞	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
513	深川	中(深川屋敷)	鈴木清之丞	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
514	深川	中(深川屋敷)	鈴木清之丞	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
515	深川	中(深川屋敷)	伊藤清之丞	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
516	深川	中(深川屋敷)	伊藤清之丞	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
517	深川	中(深川屋敷)	鈴木清之丞	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
518	深川	中(深川屋敷)	鈴木清之丞	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区
519	深川	中(深川屋敷)	鈴木清之丞	1	松平和泉守(藩主)	1	1	1											深川区

掲載順	配札地	嘉永6年住所	信徒名	人数	宿敷	職業	嘉永6年	受納金	並	供	守	本	葛	著	足袋	海苔	金平	勤	頒布品その他お土産	該当区
520	深川		山本分藏	1		松平和泉守(藩士)			1											深川区
521	三河国西尾百石町		古技言右衛門	1		松平和泉守(藩士)			1											三河国西尾
522	三河国西尾横町		山川文左衛門	1		松平和泉守(藩士)														三河国西尾
523	茅場町・新屋敷		田崎権左衛門	1		松平和泉守(藩士)														本所区
524	風傳町		古川左衛門	1		松平和泉守(藩士)														神田区
525	風傳町・車ノ丸		原田喜内	1		松平和泉守(藩士)														神田区
526	種町・丸ノ内		杉戸大橋	1		松平和泉守(藩士)														日本橋区
527	種町・天神小路		水野忠左衛門	1		松平和泉守(藩士)														日本橋区
528	深川		鶴賀卯之吉	1		松平和泉守(藩士)														深川区
				531				191	3570	314	109	32	1	35	22	6	19	25	41	

凡例：一、本表は芦原寺雄山神社が所蔵する宝泉坊の東都檀那帳(慶応2年)に掲載された531人の信徒について、まず基本項目として掲載順に名前・住所・職業を抽出・データベース化し、次にそれにあわせ、衆徒が得た受納金(初穂料)や衆徒が頒布した諸品を抽出・データベース化し、一覧表として作成したものである。さらに、同表には各信徒の住所に対する該当区(明治11年に施行された郡区町村編制法によって制定された15区の区割りに基づく)や嘉永6年の東都檀那帳にみられる信徒との重複に関する項目も付加している。

- 一、データベースの作成に際し、配札地や頒布品を示す印の記載については、この檀那帳が作成以後数年に渡って使用され、部分的に追記・改変されている場合も多く、それぞれの記載をいつの時期の記載か識別することは困難であったが、可能な限りこの檀那帳が書写された慶応2年当初のものと思われる記載内容を抽出した。
- 一、檀那帳には「ア・サ・オ・キ・ミ・ノ・ク・ス・リ」の表記で各信徒の受納金(初穂料)の金額が示されているが、この表記が江戸時代の勸進活動の際に記載されたものか、或いは明治時代の勸進活動の際に記載されたものかは不明である。また、この「ア・サ・オ・キ・ミ・ノ・ク・ス・リ」の表記が江戸時代にかなる金額を示していたかも不明である。そこで、本表では明治時代の他の檀那帳の凡例に基づき、「ア」の印は10銭、「サ」の印は20銭、「オ」の印は30銭、「キ」の印は40銭、「ミ」の印は50銭、「ノ」の印は60銭、「ク」の印は70銭、「ス」の印は80銭、「リ」の印は90銭として提示した。
- 一、該当区の区割りは、明治11年(1878)に施行された郡区町村編制法による15区の区割りに基づいた。また住所と該当区を照合していく際には、『角川日本地名大辞典 13 東都』を参照した。

第2表 宝泉坊の東都檀那帳（慶応2年）にみる檀那場の実態（第1表の内容を配札地の該当区ごとに集約して示したもの）

廻檀地区	信徒数 (慶応2年)	信徒数 (嘉永6年)	宿 数 (慶応2年)	宿 数 (嘉永6年)	受納金 (初穂)	並	供	守	木	葛	箸	足袋	海苔	金平糖	勤 (折袴)
赤坂区	10	9	0	0	120	8	7	0	0	1	0	0	0	0	1
浅草区	73	60	0	0	440	24	6	0	0	4	0	0	0	4	9
麻布区	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
牛込区	31	24	0	0	260	16	5	3	0	1	1	2	00	0	2
神田区	15	8	0	0	120	10	5	0	0	2	0	0	0	0	1
京橋区	41	30	0	0	190	27	6	2	1	2	0	0	3	1	0
麹町区	33	30	0	0	230	18	7	2	0	1	2	0	2	2	3
小石川区	24	12	0	0	200	16	7	3	0	3	2	1	1	2	1
下谷区	16	17	0	0	140	9	7	5	0	3	1	0	0	1	4
芝区	52	38	1	1	420	34	12	4	0	5	4	0	5	1	2
日本橋区	44	42	0	0	440	27	14	3	0	3	3	0	4	3	3
深川区	75	50	0	0	260	49	14	5	0	3	6	2	1	1	7
本郷区	16	8	0	1	100	10	2	1	0	1	1	0	0	3	2
本所区	40	16	0	0	350	25	5	0	0	0	1	1	1	3	3
四谷区	15	12	0	1	210	12	7	1	0	1	1	0	2	4	2
南葛飾郡	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北豊島郡	2	0	0	0	20	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
南豊島郡	2	1	0	0	30	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1
武蔵国横浜	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上野国	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三河国西尾	24	0	0	0	0	23	2	1	0	2	0	0	0	0	0
未掲載・判読不能	8	8	0	0	40	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0
合 計	531	369	1	3	3570	314	109	32	1	35	22	6	19	25	41

凡例：一、本表は第1表の内容を配札地の該当区ごとに集約し提示したものである。
 一、該当区の区割りは、明治1年（1878）に施行された郡区町村編制法による15区の区割りに基づいた。また住所と該当区を照合していく際には、「角川日本地名大辞典 13 東京都」を参照した。

第3表 嘉永6年と慶応2年の東都檀那帳からみた師檀関係の継続状況と信徒の増加状況

身分	武士		商人		職人		家主		宗教関係	
	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規
信徒居住地										
日本橋区	6	12	15	6	1	3	1	0	0	0
京橋区	10	18	6	2	3	1	0	1	0	0
神田区	1	9	3	1	0	0	0	1	0	0
芝区	8	7	14	22	0	0	0	3	0	0
麻布区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
赤坂区	2	6	0	2	0	0	0	0	0	0
麹町区	12	14	4	2	0	0	0	1	0	0
四谷区	1	3	3	8	0	0	0	0	0	0
牛込区	4	4	1	17	0	3	0	1	2	0
小石川区	3	12	2	6	0	0	0	0	0	0
本郷区	6	5	1	4	0	0	0	0	0	0
下谷区	5	7	3	1	0	0	0	0	0	0
浅草区	2	0	26	43	0	0	0	0	2	0
深川区	19	21	8	23	1	1	0	2	0	1
本所区	1	12	5	18	2	1	0	0	1	0
その他	9	29	1	5	0	1	0	0	0	1
	89	159	92	160	7	10	1	※6(9)	5	2
	小計	248	小計	252	小計	17	小計	※7(10)	小計	7
合計 531人										

凡例：一、本表は、嘉永6年と慶応2の東都檀那帳の記載内容をそれぞれ分析・比較し、嘉永6年から慶応2年までの間の宝泉坊と江戸の信徒との師檀関係の継続状況や或いは信徒数の増加状況を示したものである。その際、信徒の身分別や地域別で一覧できるようにした。

一、各信徒の身分については、武士・商人・職人・家主・宗教者関係に大別したが、その判別は檀那帳に信徒名とともに職業が記載されている場合はそれに基づき、また、それ以外は信徒名の性や屋号等からの筆者の推測に基づくもので、多少の誤りを含んでいることをあらかじめ記しておく。

一、表中、家主の項目の※印の人数については、家主の身分として分類した3人の信徒を一方では商人の身分としても分類し、重複して数えており、そこで重複人数を差し引いた人数を記載したが、重複したまま集計した人数についても、参考として()内の人数で示した。

第4表 宝泉坊の東都廻檀日記帳（慶応3年）にみる芦峠寺から江戸までの行程（往復路）

期日	行程	宿泊地	該当市区町村
03/12	大森村→二本松村	二本松〔二松〕村（大浦屋）	富山県大沢野町
03/13	二本松村→吉野村→漆山村	漆山村（又兵衛）	岐阜県神岡町
03/14	漆山村→寺林村松山下→高山二番町	高山二番町（長瀬屋清助）	岐阜県高山市
03/15	高山滞在	高山（新見内膳屋敷）	岐阜県高山市
03/16	高山滞在	高山	岐阜県高山市
03/17	高山滞在	高山	岐阜県高山市
03/18	高山滞在	高山	岐阜県高山市
03/19	高山滞在	高山	岐阜県高山市
03/20	高山→越前国本保領→高山	高山	岐阜県高山市
03/21	高山二番町→山口村峠→黒川村	黒川村（又左衛門）	岐阜県朝日町
03/22	黒川村→中之宿→野麦村	野麦村（又右衛門）	岐阜県高根村
03/23	野麦村→神谷村→？	宿泊先不明	不明
03/24	？→松本仲町	松本仲町（玉のや）	長野県松本市
03/25	松本仲町→上田	上田	長野県上田市
03/26	上田→小諸宿西原村→怪井沢宿	怪井沢宿（七屋十右衛門）	長野県軽井沢町
03/27	怪井沢宿→江原村→高崎在	高崎在十丁目 高関村（東屋安五郎）	群馬県高崎市
03/28	高崎在→岡部宿→熊谷宿	熊谷宿（池田屋太兵衛）	埼玉県熊谷市
03/29	熊谷宿→桶川宿→浦和宿	浦和宿（脇本陣）	埼玉県浦和市
04/01	浦和宿→江戸本郷	江戸本郷菊坂町（魚屋文蔵）	東京都文京区
08/05	板橋宿→蕨宿	蕨宿（板橋→蕨宿）	埼玉県蕨市
08/06	蕨宿→前砂村	前砂村	埼玉県吹上町
08/07	前砂村→深谷先茅場村→石神村	石神村	埼玉県上里町
08/08	石神村→神山宿	神山宿	群馬県榛名町
08/09	神山宿→大戸宿→草津	草津中の原宿	群馬県草津町
08/10	草津	草津湯元	群馬県草津町
08/11	草津	草津	群馬県草津町
08/12	草津→渋峠城岩→渋宿	渋宿	長野県山ノ内町
08/13	渋宿→信州飯山→越後新井村	新井村	新潟県新井市
08/14	新井村→名立宿	名立宿	新潟県名立町
08/15	名立宿→外波宿	外波宿	新潟県青梅町
08/16	外波宿→泊宿→三日市	三日市	富山県黒部市
08/17	三日市→富山	富山	富山県富山市
08/18	富山	富山	富山県富山市
08/19	富山	富山	富山県富山市
08/20	富山→大森村→岩峠寺→芦峠寺	芦峠寺に帰山	富山県立山町

凡例：一、本表は、芦峠寺雄山神社が所蔵する宝泉坊の東都廻檀日記帳（慶応3年）から、同坊衆徒泰音の芦峠寺から江戸までの行程（往復路）を分析し提示したものである。

第5表 宝泉坊の東都廻檀日記帳(元治2年・慶応3年)にみる勧進布教活動の実態

記載されている廻檀日記帳の題目	題日	檀徒名	檀徒宅住所	勧進活動の内容
元治2年の東都廻檀日記帳	03/04	長沢原由松	本船町	土産として葛箱1箱と餅1つを運呈。
元治2年の東都廻檀日記帳	03/07	福田屋新兵衛	四谷伝馬町1丁目	葛箱と餅を運呈。
元治2年の東都廻檀日記帳	03/08	渡辺(女房or有音)	西国村松町元矢ノ倉	葛箱と餅を運呈。
元治2年の東都廻檀日記帳	03/08	沢田周仁兵衛	深川北六間組竹可し	葛箱を運呈。
元治2年の東都廻檀日記帳	03/26	人形屋久八	船場4丁目	反頭丹(300文)と布橋白紙(300文)を願布して代金を取れ、白紙経代(2束)を祝賀。
元治2年の東都廻檀日記帳	04/04	永井太之丞	本船町	永井氏には御守・茶(2)・御供を運呈。泰音が永井氏奥書院に別当勧化帳による奉加を依頼したところ、芳善院はこれを善珠院に依頼し、善珠院のおかげで御本丸や殿ヶ岡の安芸弘島藩主松平安長守や丹後後藤藩主丸亀良将守・紀伊和歌山藩主伊弉中島から記帳をうけた。
元治2年の東都廻檀日記帳	04/04	芳善院・妙智院・善珠院・鳩鳩院・賀月院	芳善院(永井氏奥)妙智院(本船)善珠院(牛込)	それそれに古(10個ずつ包んだもの)・高山箸1膳・水引・札を運呈。
元治2年の東都廻檀日記帳	04/05	深谷左衛門	湯島善養寺前	牛玉宝印・茶(10)・御供・葛袋・箸1膳・ちんね漬・上御寿奇札を運呈。深谷氏から取(人物の詳細は不明)に御本丸勧化帳が依頼されている。
元治2年の東都廻檀日記帳	04/08	松平和泉守	松平和泉守茅場町上屋敷	二河内藩藩主松平和泉守の茅場町屋敷では御幣や御札を献上、殿様と奥様の分として葛1袋・御札4枚を献上。女中方には茶を2個ずつ運呈。松平和泉守本人に御目見えし神前・仏前で礼拝した。
元治2年の東都廻檀日記帳	04/08	松平和泉守	松平和泉守深川下屋敷	松平和泉守の深川屋敷では、例年の御札2枚・餅2箱・御札4枚・葛ちんね漬1袋・葛箱1箱を献上した。殿様に御目見え。
元治2年の東都廻檀日記帳	04/08	御政・遺瀧	松平和泉守深川下屋敷	それぞれに御札を運呈。
元治2年の東都廻檀日記帳	04/09	仏傳庵	北本所馬場町	足袋・御札を運呈。
元治2年の東都廻檀日記帳	04/24	仏傳庵	北本所馬場町	立山善養庵の給解き布帛、福呂敷(1枚)と手紙を運呈。
元治2年の東都廻檀日記帳	04/30	増上寺	芝	山内大御堂を訪れ、大善和尚に御書1巻と御厨1本・葛1袋を献上。大楽和尚に函5個と足袋1束、興堂和尚に函5個と足袋1束。大佛前にお目見えし、山内大御堂に御書1巻を届ける。
元治2年の東都廻檀日記帳	05/01	増上寺	芝	例年の通り新吉原45軒分の大礼・大年玉・茶1つを届ける。大丸玉10個を運呈。新吉原への勧進帳をことう
元治2年の東都廻檀日記帳	05/03	善原中橋伊勢屋	田町2丁目	丹後守松平河内守の外桜田の願敷を訪れ、殿様・若殿・奥様・御新造様・琴姫様・縁平様に御札を献上。その際、献上台を使用、葛1つを献上、御目見えして加身を行う。
元治2年の東都廻檀日記帳	05/14	松平河内守	松平河内守外桜田上屋敷	お目見え・神前・仏前へ礼拝する。御川人の老女梅屋(取次ぎ)に種々の品を運呈。
元治2年の東都廻檀日記帳	05/18	松平和泉守	松平和泉守深川下屋敷	立山善養庵の給解き布帛、布橋白紙を行う。
元治2年の東都廻檀日記帳	05/19	茶道寺	牛込高田馬場下	御講を勤め、立山善養庵の給解きを行う。
元治2年の東都廻檀日記帳	05/27	相模屋佐平治	小石川伝通橋前	松平和泉守に勧化帳を依頼する。
元治2年の東都廻檀日記帳	05/27	松平和泉守	松平和泉守深川下屋敷	善原屋中に対する勧進については、伊勢屋三四郎に依頼し勧化帳を預け置いてきた。
元治2年の東都廻檀日記帳	07/02	伊勢屋三四郎	田町2丁目	松平河内守の外桜田上屋敷を訪れ勧化帳に記帳いただく。御奥様より折衣や九条袷袋など4品をいただく。林初
元治2年の東都廻檀日記帳	07/03	松平河内守	外桜田	御奥様より九条袷袋をいただくので、芦崎寺に御山後、燗堂修行中に祈念することにする。
元治2年の東都廻檀日記帳	07/10	松平和泉守	松平和泉守茅場町上屋敷	御奥様とお話し、御座に会う。
元治2年の東都廻檀日記帳	07/10	松平和泉守	松平和泉守深川下屋敷	本殿様に御目見え、五穀成祝の祈禱を芦崎寺に御山してから執行することになる。御札を運呈、勧化帳を預け置く。家中の家内らに対する勧化帳は野原徳造が引き受け、茶を運呈する。御政と殿様に御札を運呈、川住市右衛門に妙
元治2年の東都廻檀日記帳	07/17	福田屋(新兵衛か)	四谷伝馬町1丁目	芦崎寺に御山するため福田屋より届立する。福田屋が取柄まで見送ってくれる。其茶堂久八も下町より四谷に出
慶応3年の東都廻檀日記帳	01/06	本船町(長沢原由松)	本船町	土産として御書2束を運呈。御札・大黒天を運呈。
慶応3年の東都廻檀日記帳	04/07	渡辺友助	西国村松町元矢ノ倉	土産として葛袋粉1袋、樽置2束を運呈。御札・大黒天・白紙を運呈。
慶応3年の東都廻檀日記帳	04/14	近江屋	いすれの近江屋か不明	御札・大黒天・樽置を運呈。
慶応3年の東都廻檀日記帳	04/15	茶道寺	牛込高田馬場下	弘善和尚に足袋1束と御札を運呈。
慶応3年の東都廻檀日記帳	04/18	仏傳庵	北本所馬場町	足袋に足袋1束と大黒天を運呈。
慶応3年の東都廻檀日記帳	04/18	福屋	いすれの伊勢屋不明	御向を勤める。
慶応3年の東都廻檀日記帳	04/18	福田屋(仁兵衛)	深川北六間組竹可し	樽置を運呈。
慶応3年の東都廻檀日記帳	04/18	石丸(徳五郎)	深川下町伊後橋角	葛箱と樽置を運呈。御向を勤める。
慶応3年の東都廻檀日記帳	04/21	松平和泉守	松平和泉守本船町屋敷	松平和泉守の本船町屋敷を訪れ、御書様・御奥様に御札・大黒天を献上。
慶応3年の東都廻檀日記帳	04/21	戸田	松平和泉守本船町屋敷	御札を運呈。
慶応3年の東都廻檀日記帳	04/21	鈴木権大夫	松平和泉守本船町屋敷	樽置等の袋・葛・函2個を運呈。
慶応3年の東都廻檀日記帳	04/21	阿部	松平和泉守本船町屋敷	御札を運呈。
慶応3年の東都廻檀日記帳	04/21	右殿	松平和泉守深川下屋敷	二河内藩に御札・葛・樽置など1袋、函2個・大黒天・たわし袋入1つを献上。
慶応3年の東都廻檀日記帳	04/21	野原徳瀧	松平和泉守深川下屋敷	御札・函2個・大黒天を運呈。
慶応3年の東都廻檀日記帳	04/24	仏傳庵	北本所馬場町	葛箱・葛袋・函2個を運呈。
慶応3年の東都廻檀日記帳	04/27	寺嶋門蔵	小石川傳通橋前	御講を勤める。
慶応3年の東都廻檀日記帳	07/25	永井太之丞	本船町	足袋2束・樽置(700文)・大黒天・御札を運呈。
慶応3年の東都廻檀日記帳	08/05	福田屋(新兵衛)・其茶堂(久八)	福田屋(四谷伝馬町1丁目)其茶堂(船町)	永井氏の願敷を訪れ善珠院にお目見えしお話しする。永井氏等の協賛で、三ノ丸尾川様・紀伊屋・加川様・石馬場等より大黒天の献上に対し初穂をいただく。芦崎寺に御山のため福田屋を出立。其茶堂久八が板橋まで見送ってくれる。

凡例：一、本表は芦崎寺雄山神社が所蔵する元治2年と慶応3年の2冊の東都廻檀日記帳の記載内容から、宝泉坊衆徒泰音が行った廻檀配札活動の実態を浮彫にしていると思われる部分を抽出・解説し、参考事例としてその概略をまとめ一覧したものである。

一、事例の抽出については、あくまでも筆者が必要と認識したものについてのみ行った。

第6表 宝泉坊の東都廻檀日記帳（慶応3年）
巻末にみる招講の勤修状況

掲載	期日	名前
02	04/24	仏母庵
03	05/07	和泉守様
01	05/15朝	来迎寺
05	05/17	小石川寺嶋氏
18	05/18	宮沢氏 紙屋
19	05/19	小田亀太郎
17	05/20	大塚町播磨屋長治郎
20	05/21	加賀屋喜助
21	05/22	河合駒次郎
22	05/23	大村源彦郎
04	05/24	仏母庵
23	05/27	長沢屋藤七
24	05/29	左官喜之助
13	06/	桶屋久左衛門
09	06/01	本所按吉
11	06/01夕	百足屋
12	06/02夕	萬屋市三郎
10	06/03昼	和泉守様
08	06/04	堺屋（二十三回忌）
16	06/06	大塚町家主久兵衛
26	06/06	伊勢屋儀兵衛
27	06/07	近江屋孝左衛門
25	06/13	山口屋仁兵衛
06	06/13夕	渡辺氏
07	06/14夕	河野吉十郎
28	06/15	沢田屋仁兵衛
14	06/16	相模屋佐平治
29	06/16	砂村四十丁乙（音）右 衛門
32	06/22	願岡様
34	06/23	中村六之丞
33	06/23	三笠平兵衛
15	06/26	寺嶋氏
36	07/06	近藤善治郎
37	07/08	横田権之助
38	07/09	阿部様
30	07/16	花井様 七回忌也
39	07/18	栴見屋
35	07/18	新吉原講中
40	07/20	江戸二丁目つる和泉屋 清蔵
31	07/24夕	石丸様

- 凡例：一、本表は、芦崎寺雄山神社が所蔵する宝泉坊の慶応3年の東都廻檀日記帳巻末に記載されている招講の勤修状況について、その対象となった信徒宅や期日等の一覧を示したものである。
- 一、表中、掲載の項目の番号については、上記の廻檀日記帳の該当部分における、掲載順を示すものである。

第7表 宝泉坊の東部廻杭日記帳(元治2年)にみる衆徒奉音の廻杭実態

期日	宿所実	宿所実所在地	主従(奉音)の奉
03/01	三河原宿市	本郷6丁目御前町寄坂市	川村区石巻門(下袴) → 三河原宿市
03/02	三河原宿市	本郷6丁目御前町寄坂市	三河原宿市
03/03	三河原宿市	本郷6丁目御前町寄坂市	三河原宿市
03/04	河内家本宿城	河内家本宿城	長沢原宿城(本宿町)
03/05	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/06	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/07	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/08	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/09	三河原宿市	本郷6丁目御前町寄坂市	三河原宿市
03/10	河内家本宿城	河内家本宿城	長沢原宿城
03/11	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/12	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/13	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/14	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/15	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/16	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/17	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/18	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/19	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/20	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/21	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/22	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/23	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/24	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/25	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/26	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/27	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/28	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/29	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/30	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城
03/31	河内家本宿城	河内家本宿城	河内家本宿城

期日	宿泊家	宿泊家所在地	主な立ち寄り先
05/04	宿泊家未掲載	加賀屋喜助(牛込本城下五軒町)	伊勢屋兵衛(牛込改代町)
05/05	長沢屋由松	改代町	牛込一舟波屋兵衛
05/06	大村松太郎	市ヶ谷三番町	寺嶋内蔵(小石川御掃除組屋敷)→大村源太郎
05/07	石川倉藏	牛込本所石原町1丁目	石川倉藏
05/08	大工藤九郎	牛込	朝田和彦・居麻院(住所不明)→松平左兵衛(住所不明)→大工藤九郎
05/09	寺嶋内蔵	小石川御掃除組屋敷	加賀屋喜助(牛込本城下五軒町)→寺嶋内蔵
05/10	三河屋彦市	本郷5丁目横町菊坂石町	寺嶋内蔵(小石川御掃除組屋敷)→三河屋彦市
05/11	宿泊家未掲載	坂下辺	坂下辺
05/12	長沢屋由松	本船町	道了宮(浅草花川口)→排伊勢屋三四郎(新五郎町田町2丁目)→長沢屋由松
05/13	渡辺(有喜か)	南国元朱ノ倉	江坂下地(浅草広小路)→渡辺(有喜か)
05/14	渡辺(有喜か)	南国元朱ノ倉	渡辺(有喜か)
05/15	其家堂久八	駿河町	本所中の地辺→排屋七左衛門(本所馬場)→其家堂久八
05/16	石丸屋五郎	深川番町	梅吉(南船町)→石丸屋五郎
05/17	左官喜之助	本所桜通次の見ノ下近く	左官喜之助
05/18	長沢屋由松	本船町	割下米辺→長沢屋由松
05/19	太田屋喜太郎	本所松井町2丁目	相原辰兵衛(浅草藤原町)→太田屋喜太郎
05/20	木口屋幸吉	深川西平野町	木口屋幸吉
05/21	渡辺(有喜か)	南国元朱ノ倉	伏見原辰右衛門(深川上本町三好町)→渡辺(有喜か)→渡辺(有喜か)
05/22	渡辺(有喜か)	南国元朱ノ倉	渡辺(有喜か)
05/23	長沢屋由松	本船町	松平和泉守(深川下屋敷か)→長沢屋由松
05/24	其家堂久八	駿河町	長沢屋由松(本船町)→其家堂久八
05/25	其家堂久八	駿河町	其家堂久八
05/26	其家堂久八	駿河町	其家堂久八
05/27	河内屋兵衛	所在地不明	河内屋兵衛
05/28	渡辺(有喜か)	南国元朱ノ倉	八木下五郎(下谷申御前町)→渡辺(有喜か)
05/29	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載	渡辺(有喜か)(南国元朱ノ倉)
05/30	太田屋喜三郎	本所松井町2丁目	太田屋喜三郎
06/01	太田屋喜三郎	本所松井町2丁目	伊勢屋安兵衛(新五郎)→高屋(中船町か)(新五郎)→太田屋喜三郎
06/02	長沢屋由松	本船町	沢田屋(仁兵衛か)(深川北六軒町)→長沢屋由松
06/03	寺嶋内蔵	小石川御掃除組屋敷	寺嶋内蔵(小石川御掃除組屋敷)→福田屋新兵衛
06/04	福田屋新兵衛	四谷伝馬町1丁目	中村六之丞(小石川御掃除組屋敷)→伝馬屋金平・志摩屋三寺嶋内蔵
06/05	河内屋兵衛	三河町3丁目	河内屋兵衛
06/06	河内屋兵衛	三河町3丁目	河内屋兵衛
06/07	越後屋次郎	芝大橋一丁目	越後屋次郎
06/08	翁木宗吉	築地門跡裏橋前橋向	芝堀上寺山内大御堂(大御堂・御隠居・閑空様・三田御隠居)→三河屋文七(桜田備前町)→翁木宗吉
06/09	宿泊家未掲載	本船町	跡本宗吉(築地門跡裏橋前橋向)
06/10	中村屋五郎	深川西平野町	中村屋五郎
06/11	石丸屋五郎	深川上本町	田安下屋敷(深川)→石丸屋五郎
06/12	長沢屋由松	本船町	近江屋孝左衛門(平野町)→渡辺(有喜か)→長沢屋由松
06/13	渡辺(有喜か)	南国元朱ノ倉	松平和泉守(深川下屋敷)→渡辺(有喜か)
06/14	其家堂久八	駿河町	松平和泉守(本町上屋敷)→其家堂久八
06/15	三河屋文七	桜田備前町	三河屋文七(桜田備前町)
06/16	太田屋新兵衛	飯倉元町2丁目	太田屋新兵衛(横断線の住所飯倉元町2丁目。戦後日記の住所は芝倉下町)
06/17	三河屋文七	桜田備前町	大沢主馬(芝倉下御保小路)→三河屋文七
06/18	大塚屋忠兵衛	本船町	大塚屋忠兵衛
06/19	三河屋兵衛	芝三丁目1丁目	三田→三河屋兵衛
06/20	三河屋兵衛	芝三丁目1丁目	伊原守→三河屋兵衛→三河屋兵衛
06/21	宿泊家未掲載	本船町	三河屋文七(桜田備前町)
06/22	三河屋文七	桜田備前町	松平市正(外桜田)→三河屋文七
06/23	寺嶋内蔵	小石川御掃除組屋敷	下谷市蔵(飯草長門守屋敷)→中村六之丞(小石川御掃除組屋敷)→寺嶋内蔵
06/24	渡辺(有喜か)	南国元朱ノ倉	渡辺左衛門(御島堂裏方前)→渡辺(有喜か)
06/25	新見内蔵	小石川金蔵寺坂上・半込地米坂上行願立内	根津辺→石井忠左衛門(三浦志摩守屋敷) or 石井太郎右衛門(柳嶋妙見塚手前)→新見内蔵
06/26	渡辺(有喜か)	南国元朱ノ倉	大沢主馬(芝倉下御保小路)→飯谷小右衛門(大沢主馬屋敷)→渡辺(有喜か)
06/27	宿泊家未掲載	本船町	法隆寺(高田か)→浅草藤原院地内さき道徳元(浅草花川口町)→京屋八兵衛(深川本所)
06/28	永井太之丞隠居	不明(永井太之丞宅)	永井太之丞隠居宅
06/29	長沢屋由松	本船町	寺嶋内蔵(小石川御掃除組屋敷)→長沢屋由松
07/01	宿泊家未掲載、観音で宿泊	根岸	小林金平(下谷申御前町中程)→明屋重兵衛(根岸)→観音隠居(根岸)
07/02	其家堂久八	駿河町	排伊勢屋(新五郎町田町2丁目)→其家堂久八
07/03	三河屋文七	桜田備前町	松平中務太輔(外桜田)→三河屋文七
07/04	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載	三河屋文七(桜田備前町)
07/05	渡辺(有喜か)	南国元朱ノ倉	本所辺→近江屋孝左衛門(深川西平野町)→渡辺(有喜か)
07/06	河内屋兵衛	神田三河町4丁目	横町辺→河内屋兵衛
07/07	沢田屋(仁兵衛か)	深川北六軒町	河内屋(河内兵衛か)(深川三河町4丁目)→佐竹右兵衛大夫(根津)→沢田屋(仁兵衛か)
07/08	長沢屋由松	本船町	沢田屋(仁兵衛か)(深川北六軒町)→松平和泉守(本町上屋敷 or 深川下屋敷)→長沢屋由松
07/09	渡辺(有喜か)	南国元朱ノ倉	元大塚町(新五郎町)→渡辺(有喜か)
07/10	渡辺(有喜か)	南国元朱ノ倉	松平和泉守(本町上屋敷)→松平和泉守(深川下屋敷)→渡辺(有喜か)
07/11	長沢屋由松	本船町	渡辺(有喜か)(南国元朱ノ倉)→本町→其家堂久八(駿河町)→長沢屋由松
07/12	小宮山利助	半込地門内王手四番町	長沢屋由松(本船町)→富山三度飛脚所(下谷池之端町)→渡辺(有喜か)→深谷左衛門→小林金平→小宮山利助
07/13	福田屋(新兵衛か)	四谷伝馬町1丁目	小宮山利助(半込地門内王手四番町)→四谷一徳町→京橋(備中守)(山王永田馬場)→福田屋(新兵衛か)
07/14	福田屋(新兵衛か)	四谷伝馬町1丁目	富山三度飛脚所(下谷池之端町)→近江屋・茶屋→福田屋(新兵衛か)
07/15	近江屋	いざの近江屋か不明	茶屋・上州屋→近江屋
07/16	宿泊家未掲載(福田屋新兵衛宅か)	宿泊家未掲載	福田屋(新兵衛か)(四谷伝馬町1丁目)→新宿白鬚屋
07/17	福田屋	本船町	福田屋(新兵衛か)(四谷伝馬町1丁目)→飯橋町→上野宿→大宮宿

凡例：一、本表は芦崎寺雄山神社が所蔵する元治2年の東都廻程日記帳の記載内容を分析し、江戸滞在期間中の全日の宿泊家及びその所在地、当日の主な訪問先を一覧したものである。宿泊家の項目中()内は筆者の推測に基づく。

第8表 宝泉坊の東都廻檀日記帳(慶応3年)にみる衆徒泰音の廻檀実態

期日	宿泊家	所在地
04/01	魚屋文蔵	本郷菊坂町
04/02	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
04/03	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
04/04	藤沢屋清三郎	本郷
04/05	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
04/06	宿泊家未掲載、本船町に宿泊。	本船町
04/07	渡辺友勝	両国元矢ノ倉
04/08	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
04/09	魚屋文蔵	本郷菊坂町
04/10	藤沢屋文蔵	住所不明
04/11	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
04/12	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
04/13	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
04/14	福田屋(新兵衛か)	四谷伝馬町1丁目
04/15	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
04/16	三河屋文七	桜田備前町
04/17	渡辺(友勝)	両国元矢ノ倉
04/18	宿泊家未掲載、船町に宿泊。	船町
04/19	長沢屋(由松)	本船町
04/20	渡辺(友勝)	両国元矢ノ倉
04/21	宿泊家未掲載、船町に宿泊。	船町
04/22	其榮堂久八	駿河町
04/23	渡辺(友勝)	両国元矢ノ倉
04/24	渡辺(友勝)	両国元矢ノ倉
04/25	宿泊家未掲載、船町に宿泊。	船町
04/26	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
04/27	魚屋文蔵	本郷菊坂町
04/28	宿泊家未掲載、菊坂町に宿泊。	菊坂町
04/29	堺屋(重兵衛か)	下谷車坂町
04/30	渡辺(友勝)	両国元矢ノ倉
05/01	福田屋(新兵衛か)	四谷伝馬町1丁目
05/02	三河屋藤四郎	芝三田1丁目
05/03	鈴木(宗奇)	築地門跡裏備前橋向
05/04	渡辺(友勝)	両国元矢ノ倉
05/05	石丸(源五郎)	深川森川町
05/06	渡辺(友勝)	両国元矢ノ倉
05/07	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
05/08	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
05/09	宿泊家未掲載、船町に宿泊。	船町
05/10	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
05/11	菅沢定兵衛	住所不明
05/12	福田屋(新兵衛か)	四谷伝馬町1丁目
05/13	深谷(左源太)	湯島靈雲寺前
05/14	魚屋文蔵	本郷菊坂町
05/15	来迎寺	牛込高田馬場下
05/16	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
05/17	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
05/18	宮沢(鉦之助)	小石川同心町
05/19	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
05/20	播磨屋長治郎	小石川大塚町
05/21	加賀屋喜助	牛込赤城下五軒町
05/22	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
05/23	大村(源太郎)	市ヶ谷三番町
05/24	渡辺(友勝)	両国元矢ノ倉
05/25	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
05/26	長沢屋(由松)	本船町
05/27	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
05/28	渡辺(友勝)	両国元矢ノ倉
05/29	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
06/01	百足屋(龜吉)	深川仲町
06/02	家主市三郎	不明
06/03	堺屋重兵衛	下谷車坂町
06/04	堺屋隠居宅	根岸

期日	宿泊家	所在地
06/05	京屋八兵衛	深川亥ノ堀
06/06	伊勢屋儀兵衛	深川扇橋西町
06/07	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
06/08	宿泊家未掲載	船町
06/09	宿泊家未掲載	船町
06/10	鈴木宗斎	築地門跡裏備前橋向
06/11	鈴木宗斎	築地門跡裏備前橋向
06/12	渡辺(友勝)	両国元矢ノ倉
06/13	宿泊家未掲載	船町
06/14	河野	不明
06/15	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
06/16	吉野老右衛門	西葛西砂村
06/17	渡辺(友勝)	両国元矢ノ倉
06/18	魚屋文蔵	本郷菊坂町
06/19	宿泊家未掲載、永町に宿泊。	永町
06/20	渡辺(友勝)	両国元矢ノ倉
06/21	寺嶋(円蔵)	小石川御掃除組屋敷
06/22	三笠(平兵衛)	小石川御門内松平讃破守中屋敷
06/23	寺嶋(円蔵)	小石川御掃除組屋敷
06/24	石丸(源五郎)	深川森川町
06/25	宿泊家未掲載、永町に宿泊。	永町
06/26	宿泊家未掲載、船町に宿泊。	船町
06/27	堺屋隠居宅	根岸
06/28	渡辺(友勝)	両国元矢ノ倉
06/29	三河屋文七	桜田備前町
07/01	城嶋屋留五郎	住所不明
07/02	宿泊家未掲載、永町に宿泊。	永町
07/03	三河屋藤四郎	芝三田1丁目
07/04	池田屋伊之助	四谷伝馬町3丁目
07/05	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
07/06	石井太郎右衛門	柳嶋妙見塚手前
07/07	長沢屋由松	本船町
07/08	横田権之助	赤坂溜池
07/09	大沢主馬	芝愛宕下神保小路
07/10	三河屋文七	桜田備前町
07/11	鈴木宗斎	築地門跡裏備前橋向
07/12	福田屋(新兵衛か)	四谷伝馬町1丁目
07/13	渡辺(友勝)	両国元矢ノ倉
07/14	沢田屋仁兵衛	深川北六軒堀
07/15	長浜屋藤七	芝田町2丁目
07/16	河野	不明
07/17	堺屋(重兵衛か)	下谷車坂町
07/18	堺屋隠居宅	根岸
07/19	堺屋(重兵衛か)	下谷車坂町
07/20	堺屋(重兵衛か)	下谷車坂町
07/21	渡辺(友勝)	両国元矢ノ倉
07/22	長沢屋(由松)	本船町
07/23	寺嶋(円蔵)	小石川御掃除組屋敷
07/24	魚屋文蔵	本郷菊坂町
07/25	来迎寺	牛込高田馬場下
07/26	小宮山(利助)	牛込御門之内土手四番町
07/27	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
07/28	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
07/29	福田屋新兵衛	四谷伝馬町1丁目
08/01	福田屋(新兵衛か)	四谷伝馬町1丁目
08/02	福田屋(新兵衛か)	四谷伝馬町1丁目
08/03	宿泊家未掲載	宿泊家未掲載
08/04	福田屋(新兵衛か)	四谷伝馬町1丁目
08/05	寿弥三郎	蔵宿

凡例：一、本表は芦崎寺雄山神社が所蔵する慶応3年の東都廻船日記帳の記載内容を分析し、江戸滞在期間中の全日の宿泊家及びその所在地を一覧したものである。宿泊家の項目中()内は筆者の推測に基づく。

第9表 宝泉坊の東都檀那帳(元治2年・慶応3年)にみる訪問・宿泊回数の多い信徒

第1表 の番号	信徒名	住所	元治2年 宿泊回数	元治2年 訪問回数	慶応3年 宿泊回数
001	渡辺(宥斎・勝友)	両国元矢ノ倉	18	22	16
003	長沢屋由松	本船町	14	18	4
092	堺屋重兵衛	下谷車坂上	0	2	5
121	永井太之丞	本郷御弓町	1	11	0
143	寺嶋円蔵	小石川御掃除組屋敷	5	12	3
151	新見内膳	小石川金剛坂上	3	3	0
156	小宮山利助	牛込御門内土手四番町	2	4	1
165	加賀屋喜助	牛込赤城下五軒町	1	4	1
203	三河屋文七	桜田備前町	4	9	3
214	三河屋藤四郎	芝三田1丁目	4	4	2
255	松平河内守	外桜田	0	3	0
281	福田屋新兵衛	四谷伝馬町1丁目	12	14	8
311	近江屋(孝左衛門か)	深川東平野町	0	3	0
315	沢田屋仁兵衛	深川北六軒堀	2	7	1
320	仏母庵	本所馬場	0	2	0
382	石丸源五郎	深川森下町伊豫橋角	3	3	2
401	鈴木宗斎	築地門跡裏備前橋向	3	4	4
445	枅伊勢屋三四郎	新吉原or田町2丁目	0	3	0
454	松平和泉守	深川・茅場町・木挽町	0	8	0
未掲載	其栄堂久八	駿河町	8	11	1
未掲載	魚屋文蔵	本郷菊坂町	0	0	6
未掲載	三河屋彦市	本郷6丁目横町菊坂台町	7	7	0
未掲載	河内屋興兵衛	神田三河町4丁目	4	6	0
未掲載	堺屋重兵衛隠居	根岸	2	3	3
未掲載	増上寺	芝	0	3	0
未掲載	河内屋与兵衛	三河町3丁目	2	2	0

凡例：一、本表は芦峯寺雄山神社が所蔵する元治2年と慶応3年のそれぞれの東都廻檀日記帳の記載内容を分析し、宝泉坊衆徒泰音が江戸滞在中に訪問・宿泊した信徒宅を抽出・整理し、その中で比較的回数の多いものを抜粋したものである。

第10表 江戸切絵図にみる立山信仰の信徒

掲載順	祀札地	嘉永6年住所	信徒名	該当区	切絵図
001	周国元矢ノ倉	尚国村松町元矢ノ倉	渡辺有斎(渡辺円斎・渡辺友勝とは同一住所)	日本橋区	渡辺円斎『集約江戸絵図・中巻』78頁(19頁は一八)
017	愛宕下(水野出羽守家来)		大高新兵衛	芝区	愛宕下水野出羽守『集約江戸絵図・中巻』83頁(24頁ろ一参)
019	同藩(水野出羽守家来)	浜町(水野出羽守様御内)	酒井門太夫	住所未掲載	水野出羽守『集約江戸絵図・中巻』78頁, 中屋敷・浜町(19頁へ一七)
072	浅草広小路日音院地内	浅草雷御門前日音院寺内いろは長屋敷5番	江坂下庵	浅草区	日音院『集約江戸絵図・中巻』99頁(46頁と一武)
079	下谷練塀小路	下谷練塀小路	河野長十郎	下谷区	『集約江戸絵図・中巻』95頁(40頁に一参)
080	下谷中御徒町中程		小林金平	下谷区	小林茂十郎『集約江戸絵図・中巻』94頁(41頁に一六)
081	下谷藤堂様中屋敷西長屋下	藤堂様中屋敷西長屋下	近藤友吉	下谷区	藤堂和泉守『集約江戸絵図・中巻』94頁中屋敷(41頁へ一六)
082	下谷中御徒町	下谷中御徒町	八木下友格	下谷区	八木下『集約江戸絵図・中巻』95頁(41頁に一四)
083	下谷中御徒町	下谷中御徒町	木村養哲	下谷区	木村定次郎『集約江戸絵図・中巻』94頁(41頁に一六)
088	下谷佐竹様御屋敷内		中嶋文八	下谷区	佐竹右京大夫『集約江戸絵図・中巻』94頁上屋敷(41頁と一六)
091	下谷和泉橋通		浅井篤之助	下谷区	浅井『集約江戸絵図・中巻』79頁(19頁い一四)
104	根津権現様門前内藤様御屋敷	根津宮永町内藤様御屋敷内	宮野雄左衛門	本郷区	内藤十次郎『集約江戸絵図・中巻』102頁(39頁と一六)
105	谷中之先三浦志摩守様御屋敷	虎ノ御門内(三浦志摩守内)	石井徳左衛門	麹町区	三浦志摩守『集約江戸絵図・中巻』76頁, 上屋敷(9頁は一七)
108	小川町稲葉長門守様御屋敷内(山城淀藩)		杉本幾蔵	神田区	稲葉美濃守『集約江戸絵図・中巻』73頁, 上屋敷(14頁に一参)
115	小石川御門内松平讃岐守様御屋敷	松平讃岐守内	三笠平兵衛	小石川区	松平讃岐守『集約江戸絵図・中巻』102頁, 下屋敷(17頁と一四)
120	湯島雲雲寺前		深谷左源太	本郷区	深谷鑄之丞(瀧江守)『集約江戸絵図・中巻』103頁(38頁と一参)
121	本郷御弓町直殺	本郷御弓町(※善殊院の住居は牛込神楽坂上)	永井太之丞・善殊院	本郷区	永井兵次郎『集約江戸絵図・中巻』103頁(38頁に一参)
125	小石川同心町		宮沢鐸之助	小石川区	『集約江戸絵図・中巻』104頁(37頁ほ一四)
127	小石川蔵匠町		飯沼隆作	小石川区	『集約江戸絵図・中巻』105頁(36頁ほ一四)
128	小石川蔵匠町		鈴木岩五郎	小石川区	『集約江戸絵図・中巻』105頁(36頁ほ一参)
140	本郷丸内阿部様御屋敷内		藤田伝蔵	本郷区	阿部伊豫守『集約江戸絵図・中巻』102頁, 中屋敷(39頁に一五)
151	小石川金剛寺坂上牛込神楽坂上行願寺内	小石川富坂新町金剛寺坂	新見内膳	小石川区	新見内膳『集約江戸絵図・中巻』104頁(37頁と一六)
156	牛込御門之内土手四番町		小宮山利助	牛込区	小宮山鐸之助『集約江戸絵図・中巻』75頁(11頁へ一参)
157	牛込馬場下一ツ橋様組屋敷	下谷和泉橋通青石横町加藤様裏門前	大沢新太郎	牛込区	『集約江戸絵図・中巻』94頁(41頁ほ一七)
160	牛込高田馬場下		正覚寺	牛込区	『集約江戸絵図・中巻』118頁(69頁ほ一七)
162	牛込	牛込高田馬場下	来迎寺	牛込区	『集約江戸絵図・中巻』118頁(69頁ほ一七)
174	麹町山王丹羽様御屋敷		河井駒太郎	麹町区	丹羽左京大夫『集約江戸絵図・中巻』76頁上屋敷(9頁へ一六)
180	芝愛宕下	愛宕下	片桐石見守	芝区	片桐助作『集約江戸絵図・中巻』83頁(25頁ほ一参)
181	芝愛宕下神保小路	愛宕下神保小路(大沢主馬屋敷)	大沢主馬	芝区	大沢相模守『集約江戸絵図・中巻』83頁(25頁ろ一四)
183	芝神明町播州赤穂	芝明神町(森越中)	森越中守	芝区	森越中守『集約江戸絵図・中巻』82頁(25頁ほ一六)

掲載順	配札地	嘉永6年住所	信徒名	該当区	切絵図
184	芝神明町 御屋敷内	守屋敷 芝神明町(森越中守屋敷)	勝川貞	芝区	森越中守『集約江戸絵図・中巻』82頁、上屋敷(25頁は一六)
194 228	愛宕下秋田様御屋敷内 三田松平阿波守様御屋敷内(阿波国徳島25万石)		伊勢屋與八 森戸惣赤	芝区 京橋区	秋田安房守『集約江戸絵図・中巻』82頁、上屋敷(25頁は一四) 中屋敷(23頁ろ一七)
245	赤坂御門たるま御前	麹町5丁目紀州様 十太郎御門前	岩井源兵衛	赤坂区	『集約江戸絵図・中巻』77頁(8頁は一参)
248	麹町紀州様御屋敷内		正井宮門	麹町区	紀伊殿『集約江戸絵図・中巻』77頁(8頁は一参)
255	外稜田		松平中務大輔	麹町区	松平市正『集約江戸絵図・中巻』76頁、上屋敷(9頁ろ一五)
261	外稜田	外稜田(松平河内守屋敷)	竹井平右衛門	麹町区	松平市正『集約江戸絵図・中巻』76頁、上屋敷(9頁ろ一五)
268	虎之御門内三浦志摩守様御内	住所未詳(三浦麟之助家来)	谷口録之助	麹町区	三浦志摩守『集約江戸絵図・中巻』76頁、上屋敷(9頁は一七)
270	西の丸下松平下総守様御屋敷内		岡本箕兵衛	麹町区	松平下総守『集約江戸絵図・中巻』70頁、上屋敷(7頁は一参)
271	虎ノ新橋御門内龜井様御上屋敷		千葉五郎	麹町区	龜井隠岐守『集約江戸絵図・中巻』76頁、上屋敷(9頁は一八)
273	赤坂溜池黒田様御屋敷		西嶋助	赤坂区	松平英濃守『集約江戸絵図・中巻』86頁、中屋敷(27頁は一五)
275	赤坂紀州様御屋敷内辰巳口より		岡本殊之進	赤坂区	紀伊殿『集約江戸絵図・中巻』87頁、(26頁い一参)
278	芝愛宕下片桐様御屋敷内		橋沢教造	芝区	片桐助作『集約江戸絵図・中巻』83頁(25頁は一参)
300	青山善光寺 稲葉長門守様		吉田録蔵	赤坂区	稲葉長門守『集約江戸絵図・中巻』133頁、下屋敷(64頁は一三)
320	本所番場	北本所馬場町	仏母庵(※即源寺)	本所区	良現寺『集約江戸絵図・中巻』124頁(49頁に一六)
343	深川富川町仙石様下屋敷		森甚蔵	深川区	仙石播磨守『集約江戸絵図・中巻』126頁(53頁は一八)
382	深川森下町伊豫橋	深川森下町伊豫橋	石丸源五郎	深川区	『集約江戸絵図・中巻』126頁(53頁に一七)
394	八丁堀松平阿波守様御屋敷内		長谷川次兵衛	京橋区	中屋敷(23頁ろ一七)
400	南八丁堀本多下総守様御屋敷内		松井惣助	京橋区	上屋敷(23頁は一五)
401	築地門跡裏備前橋向	築地門跡裏備前橋前	鈴木宗斎	京橋区	鈴木『集約江戸絵図・中巻』81頁
404	上州七日市前田丹後守様内		大嶋喜三郎	住所未掲載	前田丹後守『集約江戸絵図・中巻』74頁、上屋敷(13頁ろ一五)
454	深川		松平和泉守(大殿様)	深川区	下屋敷・深川『集約江戸絵図・中巻』126頁(53頁は一参)
462	木挽町	松平和泉守様御家中(深川屋敷)	鈴木權太夫	京橋区	中屋敷・木挽町(23頁に一四)現在、歌舞伎座
467	国元・新屋敷		天野晋橋	三河国西尾	上屋敷・茅場町(21頁は一八)現在、東京証券取引所

- 凡例：一、本表は、江戸切絵図に記載されている立山信仰の信徒宅を示したものである。
 一、分析の際には、『集約江戸絵図 中巻』(古板江戸図集成刊行会、中央公論美術出版、1963年10月)と『嘉永・慶応江戸切絵図(尾張屋清七版)』(人文社刊 1995年4月)を活用した。
 一、江戸切絵図における掲載箇所の項目については、『集約江戸絵図 中巻』に記載されている場合は同本の頁数で示した。また、『嘉永・慶応江戸切絵図(尾張屋清七版)』に記載されている場合は、例えば(19頁は一八)のように、同本の頁数及び同本における位置特定方法を活用した。
 一、項目中、掲載順の番号は第1表の番号と一致している。
 一、各項目中、該当区の区割りは、明治11年(1878)に施行された郡区町村編制法による15区の区割りに基づいた。また住所と該当区を照合していく際には、『角川日本地名大辞典 13 東京都』を参照した。

第11表 宝泉坊の東都廻檀日記帳（慶応3年）巻末にみる勧進収入・支出・預金等

項 目		件 数	金 額
収入	※ 項目名なし（予定外の布施収入か）	49件	6両1分3朱1100文700銅
	※ 大黒天2躰分の代金（初穂料か）	160件	20両2800文3200銅
	※ 廻向料	144件	16両2分1朱3500文500銅
	※ 経衣約速覚（実質は血脈・血盆経）	4件	2朱1貫文100疋
	日月茶牌	整理困難	63両1分
	招講	40件	金額の記載は見られない
	※	合 計 107両1分2朱2貫400文4400銅	
	入口持参（泰音が記す収入総額）	詳細不明	145両
支出	江戸二而小懸（江戸滞在中支出額）	詳細不明	47両3朱29文
	※ 江戸二而小懸の合計金額を実際に算出	161件	77両1分3朱726文135包
	路用	詳細不明	7両
預金	預け金（一時預け入れ）	3回	61両1分

凡例：一、本表は、芦峠寺雄山神社が所蔵する宝泉坊の慶応3年の東都廻檀日記帳巻末に記載されている諸収入・諸支出・預金状況等の一覧を示したものである。

一、各項目において、その総額を筆者が集計した場合は、※印を付して示した。それ以外の項目の金額は、この廻檀日記帳の製作者である宝泉坊衆徒泰音が集計したものである。

第12表 宝泉坊の東都廻檀日記帳（慶応3年）巻末にみる各種布施金の相場

項目名なし (予定外の布施収入か)	大黒天2躰分の代金 (初穂料か)		廻向料			
	件数	割合	件数	割合		
総件数	49件		160件		144件	
布施金額	件数	割合	件数	割合	件数	割合
2分以上	0件	0%	2件	約1%	1件	1%以下
1分	3件	約6%	11件	約7%	14件	約10%
3朱	3件	約6%	6件	約4%	7件	約5%
2朱～ 3朱以下	9件	約18%	24件	約15%	43件	約39%
1朱～ 2朱以下	16件	約33%	70件	約44%	61件	約42%
100～ 500文	4件	約8%	4件	約3%	6件	約4%
50～ 200疋	10件	約20%	27件	約17%	10件	約7%
100～ 500銅	4件	約8%	16件	10%	2件	約1%

凡例：一、本表は、芦峯寺雄山神社が所蔵する宝泉坊の東都廻檀日記帳（慶応3年）巻末に記載されている初穂料と廻向料について、その布施件数と金額、及び総件数に対する割合を示したものである。

一、項目中、割合の数値は小数点第一位で四捨五入して繰り上げた。それゆえ、各項目の割合の数値を集計しても必ずしも100%にはならず、多少の誤差を含んでいる。